

シタル其情態如何

(八七) 内閣顧問木戸孝允ノ薨シタルハ何時ナリヤ且此人ノ功勞如何

何

(九七) 内國勸業博覽會ヲ開キタルハ何時ナリシヤ

何時ナリシヤ

(〇八) 西郷隆盛桐野利秋等ノ戰死セシハ何レノ地ナリヤ

シハ何レノ地ナリヤ

(一八) 亂平キ功ヲ論シ勳位勳章ヲ賜ハリタル其重ナル人々ノ名ヲ

ハリタル其重ナル人々ノ名ヲ

擧ゲヨ

(二八) 清國ノ飢民ニ賑恤ヲ加ヘンコト

時ナリヤ

(〇九) 刑法治罪法ヲ頒布シタルハ何時ナリシヤ

時ナリシヤ

總論問題

(一) 都ヲ橿原ニ尊メ萬世不拔ノ大業ヲ定メタルハ何天皇ナリヤ

(二) 不軌ヲ誅シ天位ヲ正フシタルハ何天皇ナリヤ

ハ何天皇ナリヤ

(三) 政令簡易ニシテ能ク治リシハ何天皇ノ時代ナリヤ

何天皇ノ時代ナリヤ

(四) 不庭ヲ征シ庶績ノ能ク熙マリタルハ何天皇ノ時代ナリヤ

タルハ何天皇ノ時代ナリヤ

ヲ首唱セシハ誰ナルヤ

(三八) 參議兼内務卿大久保利通ヲ戕害セシハ何モノナルヤ

害セシハ何モノナルヤ

(四八) 現今ノ郡區編制法ハ如何

現今ノ府縣會ノ規律ハ如何

(六八) 金祿公債証書ヲ華士族ニ賜ハ

リシハ何故ナリヤ

(七八) 東京ニ學士會院ヲ設ケタルハ

何時ナリシヤ

(八八) 教育令ヲ頒布シタルハ何時ナリシヤ

リシヤ

(九八) 備荒儲蓄ノ法ヲ令シタルハ何時ナリヤ

(五) 土偶ヲ以テ殉死ニ代ヘタルハ

何天皇ノ時代ナリヤ

(六) 日本武尊ヲシテ東夷ヲ伐タシメ以テ廟略ヲ廣メタルハ何天皇ノ時代ナリヤ

皇ノ時代ナリヤ

(七) 國縣ヲ分チ首長ヲ置キ治國ノ規模畧備ハリタルハ何天皇ノ時代ナリヤ

時代ナリヤ

(八) 三韓ヲ征シ國威ヲ海外ニ揚ゲタルハ何天皇ノ時代ナリヤ

タルハ何天皇ノ時代ナリヤ

(九) 經書初メテ來リ文教ノ興起シタルハ何天皇ノ時代ナリヤ

タルハ何天皇ノ時代ナリヤ



- (一) 租ヲ除ク三年民ノ炊烟鬱起シタルハ何天皇ノ時代ナリヤ
- (二) 嗣ナクシテ皇胤ヲ民間ニ擧ケタルハ何天皇ノ時代ナリヤ
- (三) 庶政ヲ振興シ八省ヲ建テ百官ヲ置キタルハ何天皇ノ時代ナリヤ
- (四) 鎌足ヲ用ヒ大姦ヲ誅シ社稷ヲ定メタルハ何天皇ナリヤ
- (五) 逆ニ取り順ニ守リ能ク天智ノ績ヲ弘メタルハ何天皇ノ時代ナリヤ
- (六) 律令ヲ修メ大寶典ヲ垂レタルハ何天皇ノ時代ナリヤ
- (七) 女中堯舜ノ稱アリシハ何天皇ナリヤ
- (八) 嗣皇ヲ廢シテ再ヒ祚ヲ踐シメルハ何天皇ナリヤ
- (九) 鼎ヲ平安ニ定メ賜フハ何人ノ意見ニ因ルヤ
- (一〇) 長子ヲ置キテ幼主ヲ立テ以テ攝政ノ初ヲ成セシハ何天皇ノ時ナリヤ
- (一一) 讒ヲ信シ忠ヲ謫シ千歲憾ヲ遺

天皇ノ時代ナリヤ

- (一) 天曆ノ治ト延喜ノ治トハ其優劣如何
- (二) 大權ノ武門ニ移リシ前兆ハ何時ノ頃顯出シタリシヤ
- (三) 最モ能ク乾綱ヲ統ヘ權臣ノ跡ヲ歛メタルハ何天皇ノ時代ナリヤ
- (四) 後三條帝以後天下ノ武夫ヲシテ復朝憲ヲ畏レサラシムルニ至リシハ何時頃ノ事ナリヤ
- (五) 私愛ニ溺レ廢立ヲ私セシハ何
- (六) 賴朝ノ天下ヲ掌握スルノ基ヲ開キタルハ自己一人ノ力ノミナルヤ
- (七) 守護ヲ置キ地頭ヲ創メタルハ專ラ何人ノ計畫セシ處ナリシヤ
- (八) 北條氏ノ能ク九世ノ久シキヲ保ツ所以ハ誰ノ力多キニ居ルヤ
- (九) 蒙古來寇シ鯨鱸海ヲ蔽ヒタルハ何天皇ノ時代ナリヤ



(〇三) 北條氏偉功ヲ以テ祖先ノ罪惡

ヲ償フニ足ル功蹟ヲ立テタル

ハ誰ナルヤ

(一三) 天下囂然再ヒ武門ノ治ヲ思ヒ

タルハ何天皇ノ時代ナリヤ

(二三) 皇胤ヲ擁立シ反跡ヲ掩ハント

シタルハ何人ナリヤ

(三三) 膝ヲ朱明ニ屈シ國体ヲ穢シタ

ルハ何人ナリヤ

(四三) 袈裟ヲ脱シテ軍職ヲ襲キタル

ハ何人ナリヤ

(五三) 應仁以降一劍ニ由リ關東ヲ併

爲リナリシヤ

(三三) 幕府中興ノ主ト稱セシハ誰ナ

ルヤ

(四四) 一時寛政ノ治ヲ稱シタルハ幕

府誰ノ治世ナリヤ

(五四) 時勢ヲ察シ政權ヲ奉還シタル

ハ幕府誰ノ治世ナリヤ

(六四) 琉球藩ヲ廢シテ華族ニ列シタ

ル始末ヲ問フ

(七四) 尙泰ヲ琉球藩王ニ封ゼシ時清

國ノ頗喜バザルハ何故リヤ

(八四) 琉球ノ人種ハ何國ト同シ人種

歴史

セタルハ何人ナリヤ

(六三) 賊ヲ討チテ山陰山陽ヲ定メタ

ルハ何人ナリヤ

(七三) 信玄及謙信ハ何處ニ起リシヤ

(八三) 諸雄ニ先テ幾何ヲ定メタルハ

何人ナリヤ

(九三) 覇業將ニ就ラントシテ忽焉弒

ニ遭ヒタルハ何人ナリヤ

(〇四) 秀吉ノ才畧如何

(一四) 關ヶ原ノ一戰ニシテ覇業ヲ定

メタルハ誰ナルヤ

(二四) 後光明天皇ハ如何ナル御人ト

ニシテ其ノ國王ハ何人ノ後胤

ナリヤ

(九四) 參議板垣退助後藤象次郎等職

ヲ辭スルノ明年何ヲ云ヒテ上

書セシヤ

(〇五) 明治十四年大政ニ付何ノ詔ア

リシヤ



博物課

動物學

- (一) 動物學ノ定義ヲ問フ
- (二) 部分トハ何ヲ云フヤ
- (三) 常習トハ何ヲ云フヤ
- (四) 效用トハ何ヲ云フヤ
- (五) 種類トハ何ヲ云フヤ
- (六) 動物ヲ六別シテ幾部トスルヤ  
且其ノ名ヲ問フ
- (七) 有脊動物ハ幾綱ニ分ツヤ
- (八) 有脊動物ノ第一綱ハ何ナリヤ
- (九) 有脊動物ノ第二綱ハ何ナリヤ

博物

- (一〇) 有脊動物ノ第三綱ハ何ナリヤ
- (一一) 有脊動物ノ第四綱ハ何ナリヤ
- (一二) 無脊動物ハ幾綱ニ分ツヤ
- (一三) 無脊動物ノ第一綱ハ何ナリヤ
- (一四) 無脊動物ノ第二綱ハ何ナリヤ
- (一五) 無脊動物ノ第三綱ハ何ナリヤ
- (一六) 哺乳類ハ幾目アリヤ且其ノ名稱如何
- (一七) 鳥類ハ幾目ニ分ツヤ且其ノ名稱如何
- (一八) 爬蟲類ハ幾目ニ分ツヤ且其ノ名稱如何



- (一) 魚類ハ幾目ニ分ツヤ且其ノ名稱如何
- (二) 多節類ハ幾目ニ分ツヤ且其ノ名稱如何
- (三) 軟体類ハ幾目ニ分ツヤ且其ノ名稱如何
- (四) 射形類ハ幾目ニ分ツヤ且其ノ名稱如何
- (五) 動物分科ノ零表ヲ製セヨ
- (六) 四手科ノ動物ヲ舉ゲヨ
- (七) 人ニ類似セル獸類ハ何ナリヤ
- (八) 羅猴ノ性質ヲ問フ
- (九) 羅猴ハ何ヲ食スルヤ
- (一〇) 羅猴ノ熱帶地方ニ産スルモノ如何ナルモアリヤ
- (一一) 羅猴ノ効用如何
- (一二) 羅猴ノ熱帶地方ニ産スルモノ如何ナルモノアリヤ
- (一三) 翅手科ノ動物ヲ舉ゲヨ
- (一四) 蝙蝠ノ部分ヲ舉ゲヨ
- (一五) 蝙蝠ノ常習ヲ問フ
- (一六) 蝙蝠ノ嗅官ハ如何
- (一七) 夜明砂トハ如何ナルモノニシテ何ニ用ルヤ
- (一八) 大蝙蝠ハ何處ニ産スルヤ
- (一九) 啖肉科ノ動物ヲ舉ゲヨ
- (二〇) 羅猴ハ何ヲ食スルヤ
- (二一) 羅猴ノ熱帶地方ニ産スルモノ如何ナルモノアリヤ
- (二二) 羅猴ノ効用如何
- (二三) 羅猴ノ熱帶地方ニ産スルモノ如何ナルモノアリヤ
- (二四) 羅猴ノ熱帶地方ニ産スルモノ如何ナルモノアリヤ
- (二五) 羅猴ノ熱帶地方ニ産スルモノ如何ナルモノアリヤ
- (二六) 羅猴ノ熱帶地方ニ産スルモノ如何ナルモノアリヤ
- (二七) 羅猴ノ熱帶地方ニ産スルモノ如何ナルモノアリヤ
- (二八) 羅猴ノ熱帶地方ニ産スルモノ如何ナルモノアリヤ
- (二九) 羅猴ノ熱帶地方ニ産スルモノ如何ナルモノアリヤ
- (三〇) 羅猴ノ熱帶地方ニ産スルモノ如何ナルモノアリヤ

- (七一) 狗ノ部分ハ如何
- (七二) 狗ノ嗅官ハ如何
- (七三) 狗ノ性質ハ如何
- (七四) 狗ハ何ヲ食スルヤ
- (七五) 犬皮ハ何ニ用ルヤ
- (七六) 車犬、牧犬、血犬、獵犬、守夜狗ノ效用ヲ問フ
- (七七) 犬ノ種類ヲ問フ
- (七八) 狼ノ脚ヲ詳細ニ説明セヨ
- (七九) 狼ノ常習如何
- (八〇) 狼ノ糞ハ何ニ用ルヤ
- (八一) 狼ノ毛ハ何ニ用ルヤ
- (八二) 狼ノ肉ハ何ニ用ルヤ
- (八三) 狐ノ性ハ如何
- (八四) 狐ヲ捕ル方法如何
- (八五) 狐ノ毛皮及ヒ革ノ效用ハ如何
- (八六) 狐ノ眼ニ就キテ學ビタルヲ述ベヨ
- (八七) 狐ノ性ハ如何
- (八八) 狐ヲ捕ル方法如何
- (八九) 狐ノ毛皮及ヒ革ノ效用ハ如何
- (九〇) 狐ノ眼ニ就キテ學ビタルヲ述ベヨ
- (九一) 狐ノ性ハ如何
- (九二) 狐ヲ捕ル方法如何
- (九三) 狐ノ毛皮及ヒ革ノ效用ハ如何
- (九四) 狐ノ眼ニ就キテ學ビタルヲ述ベヨ
- (九五) 狐ノ性ハ如何
- (九六) 狐ヲ捕ル方法如何
- (九七) 狐ノ毛皮及ヒ革ノ效用ハ如何
- (九八) 狐ノ眼ニ就キテ學ビタルヲ述ベヨ
- (九九) 狐ノ性ハ如何
- (一〇〇) 狐ヲ捕ル方法如何
- (一〇一) 狐ノ毛皮及ヒ革ノ效用ハ如何
- (一〇二) 狐ノ眼ニ就キテ學ビタルヲ述ベヨ
- (一〇三) 狐ノ性ハ如何
- (一〇四) 狐ヲ捕ル方法如何
- (一〇五) 狐ノ毛皮及ヒ革ノ效用ハ如何
- (一〇六) 狐ノ眼ニ就キテ學ビタルヲ述ベヨ
- (一〇七) 狐ノ性ハ如何
- (一〇八) 狐ヲ捕ル方法如何
- (一〇九) 狐ノ毛皮及ヒ革ノ效用ハ如何
- (一一〇) 狐ノ眼ニ就キテ學ビタルヲ述ベヨ

博物



- (六五) 狸ノ性質ヲ問フ
- (七五) 狸ノ食物ヲ問フ
- (八五) 狸ノ穴ヲ作ル方法如何
- (九五) 狸ノ效用如何
- (〇六) 鞆ニ用井ルニハ如何ナル狸ノ皮ヲ可トスルヤ
- (一六) 八文字狸トハ如何ナルモノナリヤ
- (二六) 猫狸トハ如何ナルモノナリヤ
- (三六) 狸ニ類似セル動物ノ名ヲ舉ゲ
- (四六) 貉ハ晝間如何ナル習慣アルモ
- ノナリヤ
- (五六) 貉ノ毛ハ何ニ用井ルヤ
- (六六) 猫ノ部分ヲ詳細ニ記スベシ
- (七六) 猫ノ常習ヲ問フ
- (八六) 猫ヲ家ニ畜フハ何ノ爲ニスルモノナリヤ
- (九六) 猫ノ革ハ何ニ用井ルヤ
- (〇七) 野猫ハ何處ニ産スルモノナリヤ
- (一七) 野猫ノ性質ハ如何
- (二七) 熊ノ喉下ニハ如何ナルモノナリヤ

- (三七) 獵者熊ヲ刺スノ法如何
- (四七) 熊餓ウルトキハ如何スルヤ
- (五七) 熊ハ如何ナル處ニ住スルヤ
- (六七) 熊ノ性ハ如何
- (七七) 熊膽ノ效用ヲ問フ
- (八七) 熊皮ノ效用ヲ問フ
- (九七) 熊ノ種類中羆及ヒ雌ヲ説明セ
- ヨ
- (〇八) 北海道ノ人羆ヲ捕ルノ法如何
- (一八) 反藪科ノ動物ヲ舉ゲヨ
- (二八) 牛ニ銜轡ヲ施サズシテ舉テ貫
- ノ所以如何
- ヤ
- (三八) 牛ノ部分ヲ詳記セヨ
- (四八) 反嚼トハ如何ナル作用ヲ云フ
- ヤ
- (五八) 牛ノ效用如何
- (六八) 乾酪ハ何ニテ製スルヤ
- (七八) 牛ノ種類ハ如何
- (八八) 鹿ノ牝牡ノ區別如何
- (九八) 獵者鹿ヲ獵スルノ方法ヲ記セ
- ヨ
- (〇九) 鹿ノ效用ヲ問フ
- (一九) 鹿及ヒ麋ハ如何ナル動物ナリ
- ヤ



- (二九) 厚皮科ノ動物ヲ舉ゲヨ
- (三九) 馬ノ膏ヲ問フ
- (四九) 馬ノ效用ヲ詳細ニ述ベヨ
- (五九) 驢馬ト馬トノ區別ヲ問フ
- (六九) 驢馬ノ皮ニテ製シタル紙ハ如何ナル能アリヤ
- (七九) 野豬ノ怒毛トハ如何ナルモノナ云フヤ
- (八九) 野豬ノ常習ハ如何
- (九九) 野豬ノ肉ハ如何ナル用ニ供スルヤ
- (〇〇) 豕ト野豬トノ區別如何

- (一〇) 豕ト野豬トハ其ノ根元一ナリ然レト異同ヲ生シタルハ何故ナリヤ
- (二〇) 豕ノ效用如何
- (三〇) 食蟲科ノ動物ヲ舉ゲヨ
- (四〇) 鼯鼠ノ部分ヲ問フ
- (五〇) 鼯鼠ノ常習ヲ問フ
- (六〇) 啮齒科ノ動物ヲ舉ゲヨ
- (七〇) 鼠ノ部分ハ如何
- (八〇) 鼠ノ性ハ如何
- (九〇) 鼠ハ世ノ益ヲ爲スヤ如何
- (〇〇) 鼯鼠及ビ香鼠ハ各何地ニ産ス

- (一) 鼯鼠ノ常習如何
- (二) 水鼯山鼯ノ一ヲ記セヨ
- (三) 水鼯ハ如何ナル獸ニ類似セリヤ
- (四) 水獺ノ水中ヲ旋轉スルノ狀如何
- (五) 裘領ノ飾具ニ水獺ノ毛皮ヲ貴ブ理由如何
- (六) 兔ノ部分ヲ問フ
- (七) 兔ノ高所ニ登ルヲ速ニシテ低所ニ下ルヲ遅キハ何故ナリヤ

博物

- (一) 兔ノ效用ハ如何
- (二) 涉水科ノ動物ヲ舉ゲヨ
- (三) 鯨ノ部分ヲ問フ
- (四) 鯨ノ尾ニ付キテ學ビタルヲ述ベヨ
- (五) 鯨ノ魚類ニ属セズシテ獸類ニ属スル所以ヲ問フ
- (六) 鯨ハ何ヲ食スルヤ
- (七) 鯨ノ效用及ビ之ニ關スル俗諺ヲ問フ
- (八) 鯨ハ幾種アリヤ且其ノ名稱ヲ問フ



(六二一) 鯨蠟燭ハ何ニテ作ルヤ  
 (七二一) 啖肉科ノ鳥類ヲ舉ゲヨ  
 (八二一) 鷺ノ部分ハ如何  
 (九二一) 鷺ノ其ノ雛ヲ養育スル方法ハ如何  
 (〇三一) 箭羽ノ最上等ナルモノハ何ノ羽ナリヤ且何々ノ名アリヤ之ヲ記セヨ  
 (一三一) 鷹ノ尾ハ幾枚アリヤ  
 (二三一) 鷹ハ如何ナル處ニ住スルヤ  
 (三三一) 鷹ノ性ハ如何  
 (四三一) 鷹ノ效用ハ如何

(五三一) 鷹ノ種類ハ如何  
 (六三一) 鷓ノ常習ヲ問フ  
 (七三一) 鷓ノ效用如何  
 (八三一) 棲木科ノ鳥類ヲ舉ゲヨ  
 (九三一) 紫鵠ノ效用如何  
 (〇四一) 紫鵠ノ種類ヲ舉ゲヨ  
 (一四一) 越燕ハ何時來リ何時去ルヤ  
 (二四一) 越燕ノ巢ヲ造ル方法如何  
 (三四一) 燕窩トハ如何ナルモノナリヤ  
 (四四一) 岩燕トハ如何ナルモノニシテ何地ニ産スルヤ  
 (五四一) 告天子ノ常習如何

(六四一) 告天子ノ效用如何  
 (七四一) 慈鳥ノ效用如何  
 (八四一) 慈鳥ノ種類如何  
 (九四一) 攀木科ノ鳥類ヲ舉ゲヨ  
 (〇五一) 啄木鳥ノ部分如何  
 (一五一) 杜鵑ノ脚指ヲ説明セヨ  
 (二五一) 杜鵑ハ如何シテ巢ヲ作ルヤ  
 (三五一) 郭公鳥ハ何ノ属ナリヤ  
 (四五一) 家雞ノ部分如何  
 (五五一) 家雞ノ效用如何  
 (六五一) 家雞ノ種類如何  
 (七五一) 雉ノ效用ヲ問フ

(八五一) 高麗雉ハ如何ナルモノゾ  
 (九五) 鶉ハ何ヲ好ミ食フヤ  
 (〇六一) 鶉ノ肉ハ如何ナル用ニ供スルヤ  
 (一六一) 鶉ト鶉トノ別如何  
 (二六一) 涉水科ノ鳥類ヲ舉ゲヨ  
 (三六一) 鶉ノ翼ハ羽數幾枚アリヤ  
 (四六一) 鶉ノ尾ハ羽數幾枚アリヤ  
 (五六一) 鶉ノ常習如何  
 (六六一) 鶉ノ肉ハ何ニ用ヰルヤ  
 (七六一) 鶉ノ羽ハ何ニ用ヰルヤ  
 (八六一) 鶉ノ種類ハ如何



(九六-) 白鷺ノ部分ヲ問フ  
 (〇七-) 呼潮ノ歩行スル狀如何  
 (一七-) 呼潮ノ肉ハ何ニ用井ルヤ  
 (二七-) 呼潮ノ種類如何  
 (三七-) 鷓鴣ノ効用如何  
 (四七-) 鳧ハ何時來リ何時歸ルヤ  
 (五七-) 鳧ノ毛ハ何ニ用井ルヤ  
 (六七-) 鳧ノ肉ハ何ニ用井ルヤ  
 (七七-) 鳧ノ種類ヲ舉ゲヨ  
 (八七-) 雁ノ性質ハ如何  
 (九七-) 雁ノ羣飛スル狀如何  
 (〇八-) 雁ノ効用如何

(一八-) 雁ノ種類如何  
 (二八-) 鴻ハ如何ナルモノナリヤ又何  
 子食スルヤ  
 (三八-) 鷓鴣ノ常習ヲ問フ  
 (四八-) 蛇科ノ動物ヲ舉ゲヨ  
 (五八-) 蝮蛇ノ部分如何  
 (六八-) 蝮蛇ノ性質ヲ問フ  
 (七八-) 五八霜トハ如何ナルモノナリ  
 ヤ  
 (八八-) 蝦蟇科ノ動物ヲ舉ゲヨ  
 (九八-) 蟾蜍ノ部分如何  
 (〇九-) 蟾蜍ハ如何ナル所ニ住スルヤ

(一九-) 蟾蜍ノ壽ハ如何  
 (二九-) 山蛤ノ常習ヲ問フ  
 (三九-) 蜥蜴科ノ動物ヲ舉ゲヨ  
 (四九-) 守宮ノ形狀如何  
 (五九-) 龜科ノ動物ヲ舉ゲヨ  
 (六九-) 水龜ノ部分ヲ問フ  
 (七九-) 水龜ノ卵ヲ生ズル狀態如何  
 (八九-) 錢龜トハ如何ナルモノナリヤ  
 (九九-) 水龜ノ効用如何  
 (〇〇-) 素龜トハ如何ナルモノゾ  
 (〇一-) 刺蝟科ノ魚類ヲ舉ゲヨ  
 (〇二-) 鱧ノ効用如何

(三〇-) 赤鱖ノ部分如何  
 (四〇-) 赤鱖ノ常習如何  
 (五〇-) 赤鱖ノ効用如何  
 (六〇-) 金鎗魚ノ効用如何  
 (七〇-) 鯉魚ノ釣ル法ヲ問フ  
 (八〇-) 鯉魚ノ効用ハ如何  
 (九〇-) 青花魚ハ如何ナル時ヲ俟チテ  
 捕ルヤ  
 (〇一) 青花魚ノ種類ヲ問フ  
 (〇二) 華臍魚ノ部分ヲ問フ  
 (〇三) 華臍魚ノ割烹法如何  
 (〇四) 鮭ノ常習ハ如何



(四一) 鮭ノ塩引ハ如何シテ作ルヤ  
 (五一) 香魚ニ年魚ノ名アルハ何故ナリヤ  
 (六一) 香魚ノ效用ハ如何  
 (七一) 鯉ノ常習ヲ問フ  
 (八二) 鯉ノ鱗ニ付テ奇事アリ之ヲ述ベヨ  
 (九二) 鯉ハ如何シテ食用ニ供スルヤ  
 (〇三) 鯉ノ種類ヲ問フ  
 (一一) 鱖魚ノ部分ヲ問フ  
 (二二) 鱖魚ノ常習ヲ問フ  
 (三三) 鱖魚ノ種類ヲ問フ

(四二) 鯉魚ハ何地ノ海ニ最多ク産スルヤ  
 (五二) 鯉魚ノ肥ユル時ハ何時ナリヤ  
 (六二) 乾鰯ノ用ハ如何  
 (七二) 海産中世ニ益アルモノ二個ヲ舉ゲヨ  
 (八二) 潤眼鯉ハ何故ニ斯ク名ヅクルヤ  
 (九二) 鯉鱗科ノ魚類ヲ舉ゲヨ  
 (〇三) 比目魚ノ部分ヲ問フ  
 (一一) 比目魚ハ何故ニ水面ニ浮バザルカ

(一三) 比目魚ノ效用如何  
 (二四) 比目魚ノ種類如何  
 (三四) 大口魚ハ何魚ニ類似セリヤ  
 (四四) 大口魚ノ常習如何  
 (五三) 大口魚ノ鰓ハ何ニ用井ルモノナリヤ  
 (六三) 無腹鱈科ノ魚類ヲ舉ゲヨ  
 (七三) 鰻鱺ノ部分如何  
 (八三) 鰻鱺ノ性ヲ問フ  
 (九三) 蒲焼ハ如何シテ作ルヤ  
 (〇四) 鰻鱺ノ種類ヲ舉ゲヨ  
 (一四) 堅鱈科ノ魚類ヲ列舉セヨ

(二四) 河豚ノ形状及ビ部分ヲ問フ  
 (三四) 河豚ハ食用ニ供スベキヤ如何  
 (四四) 河豚ノ種類ヲ舉ゲヨ  
 (五四) 昆虫科ノ動物ヲ舉ゲヨ  
 (六四) 蛭蝶ノ部分ヲ問フ  
 (七四) 蛭蝶ノ白キモノヲ何ト云フヤ  
 (八四) 蛭蝶ノ黄色ナルモノヲ何ト云フヤ  
 (九四) 蛭蝶ハ卵ヲ何處ニ生ミ置クヤ  
 (〇五) 蛭蝶ノ卵ノ孵化シテヨリ全ク成長スル迄ノ情態ヲ詳記セン  
 (一五) ヲチ求ム



(一五二) 鳳子蝶及ヒ大黒蝶ハ如何ナル  
 モノナリヤ且如何ナル蟲ノ羽  
 化スル所ゾ  
 (二五二) 蝶ヲ幾科ニ分ツヤ其ノ名稱ヲ  
 舉グベシ  
 (三五二) 蠶ノ部分ヲ問フ  
 (四五二) 蠶ノ變形ノ順序ヲ問フ  
 (五五二) 蠶ハ何ヲ食スルヤ  
 (六五二) 蠶連紙ハ何地ノ産最著名ナリ  
 ヤ  
 (七五二) 蠶ノ效用ヲ詳記セヨ  
 (八五二) 山繭ハ如何ナルモノナリヤ

(九五二) 天蠶ハ如何ナルモノナリヤ  
 (〇六二) 天蠶絲ハ如何ナル用アリヤ  
 (一六二) 蜻蛉ノ部分ヲ問フ  
 (二六二) 蜻蛉ハ如何ナル蟲ノ化スル處  
 ズ且其ノ羽化スル情態ハ如何  
 (三六二) 蜻蛉ノ種類如何  
 (四六二) 蟬ノ部分ヲ問フ  
 (五六二) 蟬ハ如何ナル蟲ノ化スルモノ  
 ズ且其羽化ノ情態ヲ問フ  
 (六六二) 蟬ノ種類如何  
 (七六二) 蠶ノ部分中奇異ナル所アリ之  
 ヲ記セヨ

(八六二) 蠶ハ如何ナル蟲ノ化スルモノ  
 ズ  
 (九六二) 蠶ノ效用如何  
 (〇七二) 蠶蛆ハ如何ナルモノゾ且何處  
 ニ生ズルヤ  
 (一七二) 宵行ノ形狀如何  
 (二七二) 蜂ノ部分ハ如何  
 (三七二) 蜂屬中人益ヲ爲スモノハ何ナ  
 リヤ  
 (四七二) 蜜蜂ノ常習ヲ問フ  
 (五七二) 此ハ如何ナル害ヲ爲スヤ  
 (六七二) 蟻ノ常習如何

(七七二) 青蠅トハ如何ナルモノヲ云フ  
 ヤ  
 (八七二) 多足科ノ蟲類ヲ舉グヨ  
 (九七二) 蜘蛛ノ部分ヲ問フ  
 (〇八二) 蜈蚣ノ毒ハ体ノ何レノ部ニ在  
 ルカ且其ノ毒ハ何ノ爲ナリヤ  
 (一八二) 蜘蛛科ノ蟲類ヲ舉グヨ  
 (二八二) 蜘蛛ノ部分如何  
 (三八二) 蜘蛛ノ常習如何  
 (四八二) 絡新婦ハ如何ナルモノゾ  
 (五八二) 蠅虎ハ如何ナルモノゾ  
 (六八二) 環蟲科ノ蟲類ヲ舉グヨ

博物



(七九二) 蚯蚓ノ常習及ビ效用ヲ問フ  
 (八九二) 水蛭ノ效用如何  
 (九八二) 甲殼科ノ動物ヲ舉ゲヨ  
 (〇九二) 龍鰻ノ部分ヲ問フ  
 (一九二) 龍鰻ノ常習ヲ問フ  
 (二九二) 龍鰻ノ效用問ヲフ  
 (三九二) 蝸蚌ノ部分ヲ問フ  
 (四九二) 蝸蚌ハ月明ノ夜ニ於テ如何ス  
 (五九二) 蝸蚌ノ種類ヲ舉ゲヨ  
 (六九二) 頭歩科ノ動物ヲ舉ゲヨ  
 (七九二) 章魚ノ部分ヲ問フ

(八九二) 章魚ノ效用ヲ問フ  
 (九八二) 章魚ハ何ヲ嗜ムヤ  
 (〇九二) 烏賊墨汁ノ效用ハ如何  
 (一九二) 烏賊ノ種類如何  
 (二〇二) 腹歩科ノ蟲類ヲ舉ゲヨ  
 (三〇二) 蝸牛ノ部分ヲ問フ  
 (四〇二) 蝸牛ノ常習ヲ問フ  
 (五〇二) 石決明ノ部分ヲ問フ  
 (六〇二) 石決明ノ效用如何  
 (七〇二) 石決明ノ種類如何  
 (八〇二) 無頭科ノ蟲類ヲ問フ  
 (九〇二) 牡蠣ノ部分ハ如何

(九〇三) 蠟山トハ如何ナルモノヲ云フ

(七一三) 水母ノ部分ヲ問フ  
 (八一三) 植蟲科ハ如何ナルモノヲ包有  
 スルヤ

(〇一三) 文蛤ノ效用如何

(一一三) 棋子ヲ製スルニハ如何ナルモノヲ用井ルヤ

(九一三) 筒蠟ノ形狀如何  
 (〇一三) 筒蠟ノ常習如何

(二一三) 多刺科ノ蟲類ヲ舉ゲヨ

(三一三) 海膽ハ其ノ形狀何物ニ類似セ

リヤ

(四一三) 海膽ノ髻ハ如何ナルモノヲ以

テ作ルヤ

(五一三) 海膽ノ種類如何

(六一三) 刺衝類ノ蟲類ヲ舉ゲヨ

博物

- (一) 植物學ノ定義如何
- (二) 部分トハ何ヲ云フヤ
- (三) 性質トハ何ヲ云フヤ
- (四) 効用トハ何ヲ云フヤ
- (五) 種類トハ如何ナルモノナリヤ
- (六) 植物自然分科ノ畧表ヲ製セヨ



- (七) 植物界ノ三大別ハ如何
- (八) 顯花植物ハ何々ノ何部ニ分ツ
- (九) 隱花植物ハ何々ノ何部ニ分ツ
- (一〇) 外長部ハ何々ノ何類ニ分ツ
- (一一) 内長部ハ何々ノ何類ニ分ツ
- (一二) 辨多花類ハ何々ノ何科ニ分ツ
- (一三) 單辨花類ハ何々ノ何科ニ分ツ
- (一四) 無辨花類ハ何々ノ何科ニ分ツ
- (一五) 櫻花類ハ何々ノ何科ニ分ツ
- (一六) 有辨花類ハ何々ノ何科ニ分ツ
- (一七) 上長部ハ何々ノ何科ニ分ツ
- (一八) 登長部ハ何々ノ何科ニ分ツ
- (一九) 通長部ハ何々ノ何科ニ分ツ
- (二〇) 毛茛科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (二一) 牡丹ノ部分ヲ問フ
- (二二) 牡丹ノ効用ヲ問フ
- (二三) 本邦ニテ盛ニ牡丹ヲ賞シタルハ何帝ノトキヨリセシヤ

- (二四) 芍藥ノ形狀ハ何ニ類似セリヤ
- (二五) 芍藥ノ種類如何
- (二六) 木蘭科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (二七) 木蘭ノ部分ヲ問フ
- (二八) 玉蘭トハ如何ナルモノナリヤ
- (二九) 畫題ニ玉堂富貴アリ是ハ如何ナル植物ヲ指スヤ
- (三〇) 石榴科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (三一) 果石榴ト花石榴トノ別如何
- (三二) 石榴ノ効用如何
- (三三) 水通科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (三四) 木通ノ部分ヲ問フ
- (三五) 木通ノ効用ヲ問フ
- (三六) 十字科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (三七) 薔薇ノ部分ヲ問フ
- (三八) 薔薇ノ性質ヲ問フ
- (三九) 薔薇ノ効用如何
- (四〇) 蕪菁ノ性質ヲ問フ
- (四一) 蕪菁ハ如何シテ食スルヤ
- (四二) 天王寺蕪及ヒ近江蕪ヲ説明セヨ
- (四三) 蘿蔔ノ部分ヲ問フ
- (四四) 蘿蔔ハ何時下種シテ何時成長スルヤ

博物

十九



- (五四) 蘿藦ノ効用如何
- (六四) 蘿藦ヲ以名アルハ何地ナリヤ
- (七四) 睡蓮科ノ植物ヲゲヨ
- (八四) 蓮ノ荷錢、藕、荷、及菱荷ニ付キテ説明ヲ下セ
- (九四) 蓮ノ性質如何
- (〇五) 荷葉及ヒ藕ハ何ニ用井ルヤ
- (一五) 天竺蓮ノ説明如何
- (二五) 蓴ノ奇性ヲ舉ゲヨ
- (三五) 蓴ヲ食用ニ供スヘキ時季ヲ問フ
- (四五) 罌粟科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (五五) 罌粟ノ性質如何
- (六五) 罌粟ノ効用如何
- (七五) 罌粟ノ千瓣ナルモノヲ何ト名ヅクルヤ
- (八五) 山茶科ノ植物ヲ舉グベシ
- (九五) 山茶ノ性質如何
- (〇六) 山茶ノ實ハ何ニ用井ルヤ
- (一六) 山茶ノ品類ヲ舉ゲヨ
- (二六) 茶ノ部分ヲ詳記セヨ
- (三六) 茶ノ性質ヲ問フ
- (四六) 始メテ賞茶ノ式ヲ立テタルハ何帝ノ何年ナリヤ

- (五六) 茶ニ名アルハ何地ナリヤ
- (六六) 山中自生ノ茶ヲ何ト名ツクルヤ
- (七六) 錦葵科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (八六) 木芙蓉ノ花ヲ説明セヨ
- (九六) 木芙蓉ノ皮ノ用ヲ問フ
- (〇七) 草綿ノ部分ヲ問フ
- (一七) 草綿ニ日照草ノ名アルハ何故ナリナ
- (二七) 草綿ノ我國ニ傳來シ、ハ何時ナリヤ
- (三七) 草綿ノ又再ヒ傳來シタルハ何時ナリヤ
- (四七) 草綿ノ種類ヲ問フ
- (五七) 芸香科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (六七) 秦椒ノ雄本雌本ニ付キテ説明セヨ
- (七七) 秦椒ノ効用如何
- (八七) 柑ノ部分如何
- (九七) 柑ノ効用如何
- (〇八) 柑ノ種類如何
- (一八) 柚ノ効用如何
- (二八) 柚ノ種類如何
- (三八) 漆樹科ノ植物ヲ舉ゲヨ



- (四八) 漆ノ効用如何
- (五八) 豈科植物ヲ舉ゲヨ
- (六八) 蚕豆ノ莖ヲ説明セヨ
- (七八) 蚕豆ノ花ヲ説明セヨ
- (八八) 蚕豆ノ名義如何
- (九八) 蠶豆ノ効用如何
- (〇九) 大豆ノ部分ヲ問フ
- (一九) 大豆ノ効用如何
- (二九) 大豆ノ種類如何
- (三九) 赤小豆ノ効用如何
- (四九) 赤小豆ノ種類如何
- (五九) 葛ノ部分如何

- (六九) 葛根ハ何ニ用ルヤ
- (七九) 葛ノ蔓ハ何ニ用ルヤ
- (八九) 薔薇科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (九九) 梅ノ部分ハ如何
- (〇〇) 梅ノ効用ヲ問フ
- (一〇) 梅ノ性質ヲ問フ
- (二〇) 梅ノ種類ヲ問フ
- (三〇) 桃ノ効用ヲ問フ
- (四〇) 櫻ノ形狀如何
- (五〇) 櫻ヲ以名アル處ハ何地ナリヤ
- (六〇) 櫻材ハ何ニ用ルヤ
- (七〇) 櫻ノ種類如何

- (八〇) 梨ノ性質如何
- (九〇) 梨ノ種類如何
- (〇一) 海紅ハ如何ナル木ニ接グバ碩茂シ易キヤ
- (一一) 海紅ノ種類ハ如何
- (二一) 葫蘆科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (三一) 冬瓜ノ部分ヲ問フ
- (四一) 冬瓜ノ名義如何
- (五一) 冬瓜ノ瓢ハ何ノ用ヲナスヤ
- (六一) 越瓜ノ鹹ニ堅條アルヲ何ト云フヤ
- (七一) 南瓜ノ性質ヲ問フ

- (八一) 南瓜ノ効用ヲ問フ
- (九一) 繖形科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (〇二) 胡蘿蔔ヲ以テ名アルハ何地ナリ且白色ノ者ハ何地ノ産ツ
- (一一) 水芹ノ部分如何
- (二二) 水芹ト阜芹トノ區別如何
- (三二) 葡萄科ノ植物ヲ示セ
- (四二) 葡萄ノ實ノ形狀ヲ問フ
- (五二) 葡萄ノ性質ヲ問フ
- (六二) 葡萄ノ効用ヲ問フ
- (七二) 茜草科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (八二) 尾芋ノ實ノ形狀及其ノ効用ヲ

博物



- (九二一) 問フ
- (九二一) 菊科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (〇三二) 菊ノ部分ヲ問フ
- (一三二) 菊ノ雄雌兩花ヲ説明セヨ
- (二三二) 款冬ノ部分ヲ問フ
- (三三二) 款冬ノ性質ヲ問フ
- (四三二) 款冬ノ葉柄ハ何ニ用井ルヤ
- (五三二) 秋田款冬ノコヲ詳説セヨ
- (六三二) 柿樹科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (七三二) 柿ノ奇ナル性質ヲ問フ
- (八三二) 柿ノ効用ヲ問フ
- (九三二) 柿ノ品類ハ大約幾種アリヤ
- (〇四一) 旋花科ノ植物ヲ問フ
- (一四一) 甘藷ノ部分ヲ詳明ニ説キ示セ
- (二四一) 初メテ甘藷ヲ植エタルハ何人
- (三四一) ナリヤ且何帝ノ何年ナリヤ
- (四四一) 甘藷ノ効用ヲ問フ
- (五四一) 甘藷ノ種類ヲ問フ
- (六四一) 牽牛花ノ本種ハ何色ヅ
- (七四一) 桔梗咲キ梅咲キトハ如何ナル
- (八四一) モノヅ
- (九四一) 牽牛花ニハ何色ノモノ、ミナ
- (〇四一) キヤ
- (一四一) 茄科ノ植物ヲ問フ

- (九四一) 茄子ノ性質ヲ問フ
- (〇五一) 茄子ノ効用ヲ問フ
- (一五一) 茄子ノ種類ヲ問フ
- (二五一) 馬鈴薯ノ効用ヲ問フ
- (三五一) 煙草ノ部分ヲ問フ
- (四五一) 煙草ハ何國ヨリ渡來セシヤ且
- (五六一) 其年代如何
- (六六一) 煙草ノ種類ヲ問フ
- (七六一) 玄參科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (八六一) 桐ノ花ヲ説明セヨ
- (九六一) 桐ノ効用如何
- (〇六二) 桐ノ種類如何
- (一六二) 蓼科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (二六二) 蓼ノ部分如何
- (三六二) 蓼ノ効用如何
- (四六二) 蒺藜ノ部分ヲ問フ
- (五六二) 蒺藜ノ夏食スルモノハ何時種
- (五六二) ルヤ
- (五六二) 蓼科ノ植物ヲ舉ゲヨ
- (五六二) 藍ノ部分ハ如何
- (五六二) 藍ノ性質如何
- (五六二) 藍ノ効用如何
- (五六二) 有名ナル藍玉ヲ産出スルハ何
- (五六二) 地ナリヤ



(一七一)(〇七一) 藍ノ種類如何  
 (一七一)(〇七一) 蕎麥ノ最長ナルモノハ何レヨ  
 リ出ルヤ  
 (二七一)(三七一) 蕎麥ノ形状如何  
 三度蕎麥トハ如何ナルモノナ  
 リヤ  
 (四七一)(五七一)(六七一)(七七一)(八七一)(九七一) 蕎麥ノ種類ヲ問フ  
 樟科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 樟ノ奇性ヲ述ベヨ  
 樟腦ハ何ヨリ取ルヤ  
 大麻科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 大麻ノ雄本雌本ノ區別ヲ問フ

(一八一)(二八一)(三八一)(四八一)(五八一)(六八一)(七八一)(八八一)(九八一)(〇八一) 大麻ノ効用ヲ問フ  
 榆科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 樺ノ花ハ如何ナルモノゾ  
 樺ノ材ハ何ニ用ヰルヤ  
 樺ノ種類如何  
 桑科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 桑ノ培養法ヲ問フ  
 桑葉ハ如何ナル用アリヤ  
 桑材ハ如何ナル用アリヤ  
 桑ノ種類ヲ舉ゲンコトヲ求ム  
 楮ノ性質ヲ問フ  
 楮皮ハ如何ナル用ニ供スルヤ

(二九一)(三九一)(四九一)(五九一)(六九一)(七九一)(八九一) 苧麻科ノ植物ヲ問フ  
 苧麻ノ性質ヲ問フ  
 苧麻ノ効用如何  
 無花果ノ性質如何  
 無花果ノ効用ヲ問フ  
 殼斗科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 榧ノ莖葉雌雄兩性ノ別ヲ舉ゲ  
 ヲ  
 (九九一)(〇〇一)(〇一) 血儲及ビ麩儲ノ効用ヲ述ベヨ  
 栗ノ部分ヲ問フ  
 栗ノ種類如何  
 胡桃科ノ植物ヲ問フ

(三〇一)(四〇一)(五〇一)(六〇一)(七〇一)(八〇一)(九〇一)(〇〇一) 眞胡桃ハ何地ノ種ナリヤ  
 胡桃ノ種類ヲ舉ゲヨ  
 楊柳科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 柳ハ如何ナル地ヲ喜ブヤ  
 檉柳ノ一名ヲ問フ  
 黒松ノ部分ヲ問フ  
 松柏科ノ植物ヲ問フ  
 黒松ノ効用ヲ問フ  
 杉ノ性質ヲ問フ  
 杉材ハ何ノ用ニ供スルヤ  
 杉皮ノ用ヲ問フ  
 杉ノ種類ヲ問フ



(五二二) 扁柏ノ葉ヲ説明セヨ  
 (六一二) 扁柏ハ何地ニ最多キヤ  
 (七一二) 扁柏ノ効用如何  
 (八一二) 公孫樹ノ葉及ヒ核果ノ形狀如何  
 (九一一) 銀杏ハ何ニ用ヰルヤ  
 (〇二二) 櫻欄科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 (一一二) 櫻欄ノ部分ヲ説明セヨ  
 (二二二) 櫻欄ノ皮毛ハ如何ナルモノヲ製シ得ベキヤ  
 (三二二) 天南星科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 (四二二) 蒟蒻ノ効用ヲ問フ

(五二二) 澤瀉科ノ植物ヲ問フ  
 (六一二) 慈姑ノ名稱ハ如何ナル故ゾ  
 (七一二) 慈姑ノ性質如何  
 (八一二) 薑科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 (九二二) 生薑ノ効用ヲ問フ  
 (〇三二) 蘘荷笋トハ如何ナルモノゾ  
 (一一二) 鳶尾科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 (二二二) 鳶尾ノ花ヲ問フ  
 (三二二) 燕子花ノ性質ヲ問フ  
 (四二二) 燕子花ノ常品及ヒ其種類ヲ舉ゲヨ

(六三二) 石蒜科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 (七三二) 水仙ノ部分ヲ問フ  
 (八三二) 水仙ノ効用ヲ問フ  
 (九三二) 薯蕷科ノ植物ヲ問フ  
 (〇四二) 零餘子ハ何ノ實ナリヤ  
 (一四二) 野山藥及家山藥ノ別如何  
 (二四二) 百合科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 (三四二) 卷丹ノ効用ヲ問フ  
 (四四二) 百合ノ品類ハ大約幾種アリヤ  
 (五四二) 葱ノ葉ハ如何ナルモノナリヤ  
 (六四二) 葱ノ花ハ如何ナルモノナリヤ  
 (七四二) 禾本科ノ物ヲ舉ゲヨ

(八四二) 旱稻トハ如何ナルモノナリヤ  
 (九四二) 稻ノ下種及收穫ノ時季ヲ問フ  
 (〇五二) 稻ヲ以テ有名ナル所ハ何地ナリヤ  
 (一五二) 粳米ノ効用ハ如何  
 (二五二) 糯米ノ効用ハ如何  
 (三五二) 大麥ノ性質如何  
 (四五二) 大麥ノ收穫ハ何時ナリヤ  
 (五五二) 大麥ノ効用ハ如何  
 (六五二) 粟ノ種類如何  
 (七五二) 玉蜀黍ノ一名ヲ南蠻黍ト云フハ何故ゾ



(八五二) 玉蜀黍ヲ貯フル法如何  
 (九五二) 竹ノ幹ハ如何ナルモノゾ  
 (〇六二) 竹ノ根ハ何ノ方角ニ向フヤ  
 (一六二) 竹ハ何年ニシテ實ヲ結ブヤ  
 (二六二) 竹ノ效用ヲ述ベヨ  
 (三六二) 竹ノ種類ハ如何  
 (四六二) 羊齒科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 (五六二) 早蕨トハ如何ナルモノゾ  
 (七六二) 蕨ノ效用ヲ述ベヨ  
 (八六二) 木賊科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 (九六二) 木賊ノ莖ハ如何ナルモノゾ  
 (〇六二) 木賊ノ效用ヲ問フ

(〇七二) 土馬驥科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 (一七二) 土馬驥ノ效用ヲ問フ  
 (二七二) 石松科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 (三七二) 卷柏ノ部分ヲ説明セヨ  
 (四七二) 芝樞科ノ植物ヲ舉ゲヨ  
 (五七二) 香蕈ノ体ハ何ト何トヲ以成ル  
 (六七二) 香蕈ハ何ニ生ズルヤ  
 (七七二) 松蕈ノ体ノ造構如何  
 (八七二) 松蕈ハ如何ナル地ニ生スルヤ  
 (九七二) 松蕈ノ良品ハ何地ニ生スルヤ  
 (〇八二) 海藻科ノ植物ヲ舉ゲヨ

(一八二) 昆布ノ形状如何  
 (二八二) 昆布ハ何レノ地ニ最多キヤ  
 (三八二) 昆布ヨリ沃陳ヲ分出スルヲテ  
 發明セシハ誰ナリヤ  
 (四八二) 紫菜ノ形状如何  
 (五八二) 紫菜ヲ採ルノ法如何  
 (六八二) 紫菜ニ淺草海苔ノ名アル所以  
 如何  
 金石學  
 (一) 金石學トハ如何ナル學科ナリ  
 (二) 無機体トハ如何ナルモノヲ云

(三) 金石學ノ要旨ヲ問フ  
 (四) 金石分類畧表ヲ示セ  
 (五) 大氣トハ如何ナルモノナリヤ  
 (六) 泥沼瓦斯ノ性質ヲ問フ  
 (七) 都下ノ街燈ニ供スル氣體ノ名  
 ヲ問フ  
 (八) 硫化水素ノ效用如何  
 (九) 炭酸瓦斯ハ何ヨリ生スルヤ  
 (〇一) 陰溝枯井等ニ入りテ死スルコ  
 トアルハ何故ゾ  
 (一) 水ハ熱スルヲ幾度ニシテ氣體



- (一) 水ハ冷幾度ニシテ凝結スルヤ
- (二) 水ノ効用如何
- (三) 水ノ種類ヲ問フ
- (四) 水ノ種類ヲ問フ
- (五) 石炭ハ如何ニシテ生シタルモノナリヤ
- (六) 石炭ノ効用ハ如何
- (七) 鑛トハ如何ナルモノナリヤ
- (八) 泥炭トハ如何ナルモノナリヤ
- (九) 石油ノ性質ヲ問フ
- (一〇) 石油ノ効用ヲ問フ
- (一一) 琥珀ハ何ヨリ成レルモノナリ
- (一二) 琥珀ノ性ハ如何
- (一三) 琥珀ハ何地ヨリ産出スルヤ
- (一四) 物象琥珀トハ如何ナルモノナリヤ
- (一五) 石墨ノ性質ヲ問フ
- (一六) 石墨ノ効用如何
- (一七) 硫黃結晶ノ形ヲ問フ
- (一八) 硫黃ノ性質如何
- (一九) 硫黃ノ効用如何
- (二〇) 硝石ノ形狀如何
- (二一) 硝石ノ天造品ハ如何ナル處ニ

- アリヤ
- (二二) 食鹽ノ製造法ヲ問フ
- (二三) 食鹽ノ効用ヲ問フ
- (二四) 鹽ノ種類ヲ舉ゲヨ
- (二五) 石灰石ノ成分ヲ問フ
- (二六) 大理石トハ如何ナルモノナリヤ
- (二七) 炭酸石灰ニ厘ヲ消化スルニハ淨水幾何ヲ要スルヤ
- (二八) 石灰ノ効用ヲ述ベヨ
- (二九) 石膏ノ種類ヲ問フ
- (三〇) 粘礬ハ如何シテ造ルヤ
- (三一) 明礬ノ効用ヲ述ベヨ
- (三二) 石英ノ効用ヲ述ベヨ
- (三三) 石英ノ種類ヲ舉ゲヨ
- (三四) 玉髓ノ形狀如何
- (三五) 玉液トハ如何ナルモノナリヤ
- (三六) 化石ハ如何シテ成レルモノナリヤ
- (三七) 玉髓類ハ何地ニ最多キヤ
- (三八) 瑪瑙ノ品類五ケヲ説明セヨ
- (三九) 猫睛石ノ一名ヲ問フ
- (四〇) 滑石ノ効用ヲ述ベヨ
- (四一) 滑石ノ品類ヲ舉ゲヨ

博物



- (二五) 斑石ノ効用ヲ問フ
- (三五) 石絨ノ形狀如何
- (四五) 石絨ノ性質如何
- (五五) 我國ニテ火浣布ヲ創製セシハ何人ナリヤ且之ニ次テ製シタルハ誰ナリヤ
- (六五) 石絨ハ何國ヨリ出ツルヤ
- (七五) 古昔暹瑪ニテ火浣布ヲ何ニ使用セシヤ
- (八五) 長石ノ性質ヲ問フ
- (九五) 生泥ノ性質ヲ問フ
- (〇六) 生泥ノ効用ヲ述ベヨ
- (一六) 雲母ノ性質如何
- (二六) 雲母ノ形狀如何
- (三六) 雲母ハ何ニ用ヰルヤ
- (四六) 雲母ノ種類如何
- (五六) 黄金ノ天然ノモノハ形狀如何
- (六六) 黄金ノ効用如何
- (七六) 銀ノ形狀如何
- (八六) 銀ノ性質ヲ問フ
- (九六) 銀ノ効用ヲ問フ
- (〇七) 銀ノ鑛金ヲ舉ゲヨ
- (一七) 水銀ノ形狀如何
- (二七) 水銀ヲ氣化セシムルニハ幾度

- ノ熱ヲ要スルヤ
- (三七) 水銀ノ効用如何
  - (四七) 銀朱ノ製法如何
  - (五七) 銅ノ性質如何
  - (六七) 銅ハ何ニ用ヰルヤ
  - (七七) 銅ノ鑛金ヲ舉ゲヨ
  - (八七) 膽礬ノ性質ヲ問フ
  - (九七) 銅ノ効用如何
  - (〇八) 養膽礬トハ如何ナルモノナリ
  - (一八) 石綠ノ効用如何
  - (二八) 鸚鵡石トハ如何ナルモノナリ
  - (三六) 熟鉄ニ數種ノ別アリ之レヲ記セヨ
  - (四六) 鉄ノ性質ヲ問フ
  - (五六) 鉄ノ効用ヲ問フ
  - (六六) 生鉄ニ數種ノ別アリ之レヲ記セヨ
  - (七六) 熟鉄ニ數種ノ別アリ之レヲ記セヨ
  - (八六) 鋼ノ製鍊法ヲ問フ
  - (九六) 鑄鋼ノ法ハ如何
  - (〇八) 綠礬ノ性質如何
  - (一八) 綠礬ノ効用ヲ問フ
  - (二八) 代赭石ハ何地ヨリ出ヰルヤ

博物



- (二九) 錫ノ天然獨生ノ形狀如何
- (三九) 古人錫ヲ金鬼ト名ルケタル所以如何
- (四九) 錫ノ効用如何
- (五九) 常用ノ鉛ハ何ヨリ分取スルヤ
- (六九) 鉛ノ性質如何
- (七九) 鉛ノ効用如何
- (八九) 亞鉛ノ性質如何
- (九九) 亞鉛ノ効用ハ如何
- (〇〇) 安質母尼ハ何々ト鎔合シテ活字ニ用井ルヤ
- (一〇) 砒ヲ製鍊スルニ當リ工人ハ如何ナル手段ヲナシテ操作スルヤ
- (二〇) 砒ノ種類ヲ問フ
- (三〇) 雄黃ノ形狀ヲ問フ
- (四〇) 花崗石ハ何國ノ産最名アリヤ
- (五〇) 花崗石ノ効用如何
- (六〇) 花崗石ノ種類如何
- (七〇) 梯石ハ上古ノ何ナリヤ
- (八〇) 柱形石ハ柱稜何角ヨリ何角ニ至ルヤ
- (九〇) 柱形石ノ柱稜ハ何角ノモノ最多キヤ

- (〇) 柱形石ハ何地ヨリ産出スルヤ
- (一) 柱稜石ノ種類如何
- (二) 斑紋石ノ美觀ナルモノハ何國ニ産スルヤ
- (三) 斑紋石ノ種類ヲ問フ
- (四) 片麻石ノ上品ナルモノハ何地ニ産スルヤ
- (五) 片麻石ハ何ニ用井ルヤ
- (六) 角閃石片麻石ノ一名ヲ問フ



博物學雜問

- (一) 馬ノ部分ヲ問フ
- (二) 馬ハ如何ナルモノヲ食スルヤ
- (三) 鼯鼠ノ部分ヲ問フ
- (四) 鷲ハ鳥中ノ虎豹ト稱ス何故ニ然ルヤ
- (五) 鷓ノ部分ヲ問フ
- (六) 紫鶺鴒ノ部分ヲ問フ
- (七) 告天子ノ部分ヲ問フ
- (八) 慈鳥ノ羽毛ヲ説明セヨ
- (九) 慈鳥ノ常習如何
- (〇) 啄木鳥ノ名義如何

- (一) 家雞ノ常習ヲ問フ
- (二) 雉ノ部分ヲ問フ
- (三) 雉ノ常習ヲ問フ
- (四) 鶉ノ鳴クハ何時ヨリ何時ニ至リテ止ムヤ
- (五) 白鷺ノ肉ハ如何ナル用アリヤ
- (六) 青莊ノ肉ハ如何
- (七) 鷓鴣ノ部分ヲ記セヨ
- (八) 鷓鴣ノ「エマハラ」ト稱スルモノハ何ニ使用スルモノゾ
- (九) 鳧ノ部分ハ如何
- (〇) 著名ナル鴨毛屏風ハ何處ノ什

物ニシテ如何ナルモノヲ以テ作レルモノナリヤ

- (一) 如何ナルモノヲ具雁ト云フヤ
- (二) 鷓鴣ノ部分ヲ問フ
- (三) 鷓鴣ノ効用ヲ問フ
- (四) 蟾蜍ノ効用如何
- (五) 山蛤ノ効用如何
- (六) 支那ノ人蛙ニ宮蛙私蛙ノ名ヲ負ハシノタルハ如何ナル故ナリヤ
- (七) 守宮ノ常習如何
- (八) 鱸魚ノ部分ヲ問フ

博物

- (九) 赤鱖魚ノ種類ヲ舉ゲヨ
- (〇) 金鎗魚ノ部分ヲ問フ
- (一) 金鎗魚ノ種類ヲ問フ
- (二) 鱖魚ノ部分ヲ問フ
- (三) 青花魚ノ部分ヲ問フ
- (四) 青花魚ノ効用ハ如何
- (五) 華臍魚ハ一名ヲ何ト云フヤ
- (六) 靴安康ハ如何ナル形ナリヤ
- (七) 鬼靴トハ如何ナルモノゾ
- (八) 鮭ヲ産スル「最盛ナル」ハ何處ナリヤ
- (九) 鮭ノ種類ヲ舉ゲヨ



- (〇四) 香魚ノ部分如何
- (一四) 鯉ノ部分ハ如何
- (二四) 鯉魚ノ部分ヲ問フ
- (三四) 大口魚ノ種類ヲ舉ゲヨ
- (四四) 河豚ノ怒ヲ發スルキノ状態ハ如何
- (五四) 天蠶絲ハ如何ナルモノナリヤ
- (六四) 螢ノ雄雌ヲ分ツニ一目シテ了然タルコアリ何ツ
- (七四) 蜂ノ効用如何
- (八四) 蜂ノ種類ヲ舉ゲヨ
- (九四) 虻ノ部分ヲ問フ
- (〇五) 虻ノ種類ヲ問フ
- (一五) 蟻ノ部分ヲ問フ
- (二五) 臭蟻トハ如何ナルモノチ云フヤ
- (三五) 蟻ノ種類ヲ舉ゲヨ
- (四五) 蠅ノ部分ヲ問フ
- (五五) 蠅ノ常習ヲ問フ
- (六五) 蠅ヲ稱シテ天造ノ箒ナリト云フハ何故ナリヤ
- (七五) 蚰蜒ニ類似セル毒虫ハ何ナリヤ
- (八五) 蜘蛛ノ種類中絡新婦及ビ蠅虎

ヲ除キ其ノ他二三ヲ舉ゲヨ

云フヤ

- (九五) 水蛭ノ種類ヲ問フ
- (六) 龍鰻ノ種類ヲ問フ
- (一六) 蝸蚌ノ効用如何
- (二六) 望潮魚ハ如何ナルモノナリヤ
- (三六) 海蝶蛸トハ如何ナルモノチ云フヤ
- (四六) 牡蠣ノ種類如何
- (五六) 牡丹ノ種類如何
- (六六) 芍薬ノ効用如何
- (七六) 木蘭ノ効用如何
- (八六) 水晶石榴トハ如何ナルモノチ云フヤ
- (九六) 石榴ノ性質ハ如何
- (〇七) 通草ノ種類ヲ舉ゲヨ
- (一七) 蔓莖ノ種類ヲ舉ゲヨ
- (二七) 蕪菁ノ部分ヲ問フ
- (三七) 蘿蔔ノ種類ヲ舉ゲヨ
- (四七) 觀音蓮トハ如何ナルモノナリヤ
- (五七) 葶ノ莖ノ長キハ何故ナリヤ
- (六七) 麗春花ノ一名ヲ問フ
- (七七) 山茶ノ部分ヲ問フ
- (八七) 木芙蓉ノ種類ヲ舉ゲヨ



- (九七) 蜀椒ハ何處ノ名産ナリヤ
- (〇八) 柚ノ樹枝花葉ハ共ニ何ニ同シキヤ
- (一八) 漆樹ノ葉ニ付キテ説明セヨ
- (二八) 葛ノ種類ハ幾種アリヤ且其ノ名ヲ問フ
- (三八) 一歳桃トハ如何ナルモノナリヤ
- (四八) 桃ノ糖藏ノ上品ハ何處ヨリ産出スルヤ
- (五八) 桃ノ種類ヲ舉ゲヨ
- (六八) 越瓜ノ効用ヲ述ベヨ
- (七八) 胡蘿蔔ノ花ヲ説明セヨ
- (八八) 葡萄ノ種類ヲ舉ゲヨ
- (九八) 危子ノ千瓣ニシテ其木矮小ナルモノヲ何ト名ヅクルヤ
- (〇九) 公孫樹ノ葉ヲ何ト云ヒ實ヲ何ト云フヤ
- (一九) 生薑ノ部分ヲ問フ
- (二九) 玉蜀黍ノ効用如何
- (三九) 卷柏ノ種類如何
- (四九) 昆布ノ絶品ハ何ナリヤ
- (五九) 紫菜ノ部分ヲ説明セヨ
- (六九) 紫菜ノ性質ハ如何

- (七九) 礦物界ノ大別ヲ問フ
- (八九) 複体ハ何々ノ幾類ニ分ツヤ
- (九九) 単体ハ何々ノ幾類ニ分ツヤ
- (〇〇) 燃礦類ハ幾屬ニ分ツヤ其ノ名ヲ問フ
- (一〇) 鹽金類ハ幾屬ニ分ツヤ其ノ名ヲ問フ
- (二〇) 土金類ハ幾屬ニ分ツヤ其ノ名ヲ問フ
- (三〇) 鑛金類ハ幾屬ニ分ツヤ其ノ名ヲ問フ
- (四〇) 非金類ハ幾屬ニ分ツヤ其ノ名ヲ問フ
- (五〇) 磐石類ハ幾屬ニ分ツヤ其ノ名ヲ問フ
- (六〇) 大氣ノ性質ヲ問フ
- (七〇) 天然ノ泥沼瓦斯ヲ使用スルハ何地ナリヤ
- (八〇) 硫化水素ノ性質ヲ問フ
- (九〇) 炭酸瓦斯ノ効用如何
- (一〇〇) 水ノ比重ハ如何
- (一一〇) 琥珀ニ拾芥先生ノ名アル理由如何
- (一二〇) 氣炭ハ何如ナル處ニ生ズルヤ

博物



且其ノ堅キモノハ何ノ用ニ供  
スルヤ  
 琥珀油ハ如何ニシテ取ルヤ  
 鑿ノ一名ヲ問フ  
 第一酸化窒素チ一ニ喜氣ト名  
 ツクルハ何故ナリヤ  
 石炭ノ成分如何  
 石油ハ幾種アリヤ其ノ名ヲ記  
 セヨ  
 石油ノ硬体ナルモノハ幾度ノ  
 熱ニ溶クルヤ  
 水ノ結晶ノ元形ヲ問フ  
 (九一) (八一) (七一) (六一) (五一) (四一) (三一)  
 (〇一) (二一) (三一) (四一) (五一) (六一) (七一) (八一) (九一)  
 水素硫ハ如何ナル處ニアルモ  
 ノナリヤ  
 酒泉トハ如何ナルモノナリヤ  
 波斯ニテハ泥沼瓦斯チ何ニ用  
 井ルヤ  
 硝石ノ化學名ハ如何  
 硝石ノ効用如何  
 卓狀硝石トハ如何ナルモノナ  
 リヤ  
 食鹽ノ結晶形ハ如何  
 石灰石ノ化學名ハ如何  
 石灰石ノ種類ヲ問フ

石膏ノ形狀如何  
 石膏ノ性質ヲ問フ  
 石膏ハ如何ナル用ニ供スルヤ  
 明礬ノ結晶形ヲ問フ  
 明礬チ加熱スレハ如何ナル成  
 蹟チ現スヤ  
 明礬ノ種類チ舉ゲヨ  
 石英ノ成分ヲ問フ  
 玉髓ハ何ヨリ成レルモノナリ  
 ヤ  
 火石ノ通品ハ何色ナリヤ  
 火石ハ何ニ用井ルヤ  
 (八三) (七三) (六三) (五三) (四三) (三三) (二三) (一三) (〇三) (九三)  
 (八四) (七四) (六四) (五四) (四四) (三四) (二四) (一四) (〇四) (九四)  
 滑石ノ形狀ハ如何  
 滑石ノ性質ハ如何  
 堊石ノ一名ヲ問フ  
 堊石ノ性質ヲ問フ  
 斑石ノ種類チ舉ゲヨ  
 高陵泥トハ如何ナルモノナリ  
 ヤ  
 高陵泥ハ何ノ用ニ供スルヤ  
 生泥ノ氣味如何  
 黄金ノ販賣品ニ數級アリ之チ  
 記セヨ  
 水銀ノ比重ヲ問フ  
 (八四) (七四) (六四) (五四) (四四) (三四) (二四) (一四) (〇四) (九四)  
 博物  
 四十五



(九四-) 水銀ノ性質ヲ問フ

(〇五-) 膽礬ノ結晶形ハ如何

(一五-) 膽礬ノ氣味如何

(二五-) 石綠ノ性質ヲ問フ

(三五-) 鉄鑛類ヲ大約幾等ニ分ツヤ

(四五-) 鑄鋼ノ法ハ其ノ初メ何國ノ秘

蓋ナリシヤ

(五五-) 綠礬ノ色彩如何

(六五-) 代赭石ノ効用如何

(七五-) 代赭石ノ種類ヲ舉ゲヨ

(八五-) 錫ノ形狀ハ如何

(九五-) 錫ハ多ク何國ヨリ産出スルヤ

(〇六-) 亞鉛ノ種類ヲ舉ゲヨ

(一六-) 安質母尼ノ性質ヲ説明セヨ

(二六-) 砒ヲ試管内ニ結成セシメ之ヲ

顯微鏡ニ照シ見ルキハ如何ナ

ル形ヲ圖ヲ以テ之ヲ示セ

(三六-) 雄黃ノ一名ヲ何ト云フヤ

(四六-) 雄黃ノ種類ヲ舉クベシ

(五六-) 花崗石ノ形狀ヲ問フ

(六六-) 楮石トハ何等ノ石ノ總名ナリ

(七六-) ヤ且何故ニカク名ヅクルヤ

(八六-) 柱形石ノ重累セル形狀如何

(九六-) 頁トハ如何ナル義ナリヤ

(九六-) 地學家ノ片麻石ヲ稱シテ頁形

花崗石ト云フハ何故ナリヤ



物理課

總論

- (一) 物理學ノ定義如何
- (二) 物体ニ單復ノ二種アリト其例ヲ舉ゲヨ
- (三) 一個ノ動体ニ發スル感動及ビ其情態如何
- (四) 理學上試験トハ何ヲ云フヤ
- (五) 運動ノ理ヲ解セントスルニ詳知ス可キモノハ如何且其例ヲ舉ゲヨ
- (六) 速カトハ何ヲ云フヤ

(七) カトハ何ヲ云フヤ

(八) 靜止体ヲ運動セシムル力ヲ試験スルノ例ヲ舉ゲヨ

(九) 運動体ヲ靜止セシムル力ヲ試験スルノ例ヲ舉ゲヨ

(一〇) 一カアリ之ト同量反對ノ抵抗力アリテ其力ヲ逞フスルヲ得

セシメザルノ例ヲ舉ゲヨ

萬有ノ三大力

(一) 物体ノ重量ハ何ニ因テ起ルヤ

(二) 上ルト云ヒ下ルト云フノ語ヲ解説セヨ

物理



- (三) 假リニ地球ノ中心ニ在リテ鉛塊ヲ握ルニ重量アリヤ
  - (四) 粘着力トハ何ヲ云フヤ
  - (五) 重力ト粘着力ノ異ナル例解ヲ下ス可シ
  - (六) 化學親和力トハ何ヲ云フヤ
  - (七) 假ニ重力ナキトキハ世界ノ有様如何ツヤ
  - (八) 假ニ粘着力ナキトキハ地上ノ情態如何ツヤ
  - (九) 假ニ親和力ナキトキハ世上ノ状態如何ツヤ
- 重力ノ作用法
  - (一) 物体ノ中心トハ何ヲ云フヤ
  - (二) 重力ノ中心ハ常ニ何等ノ位置ヲ得ントスルヤ
  - (三) 物体ノ自由ニ運動スルアラハ其重心ハ何レノ處ニ存スルヤ
  - (四) 歪形板ノ重心ヲ見出スルノ法式如何
  - (五) 物体ノ重心ヲ見出スルニ板ノ如ク平坦ナラサルモノト雖爲シ得ヘキヤ否ヤ其理ヲ解説ス可シ

- (六) 天秤ノ重心ハ自由ニ振動セシムル所ノ支點ニ於テ存ゼサルノ理如何
  - 物質ノ三態
  - (一) 物質ノ三態トハ何ヲ云フヤ
  - (二) 三態中最多分ノ凝集力ヲ有スルモノハ何ツヤ
  - (三) 三態中凝聚力ノ無キモノハ何ツヤ
  - (四) 水銀ノ凝聚力アルヲテ試験スルノ方法如何
  - (五) 水ノ凝聚力アルヲテ試験スル
- ノ方法如何
  - (六) 固形体トハ如何ナルモノナリヤ
  - (七) 流動体トハ如何ナルモノナリヤ
  - (八) 氣狀体トハ如何ナルモノナリヤ
  - 固体ノ性
  - (一) 固形体ノ形狀及其大サヲ變スルハ果シテ爲シ難キモノナルヤ否ヤ
  - (二) 物体ノ屈折ハ之ニ應スル重量

物理



ニ比例スルノ試験ヲ舉ゲヨ

(三) 横杆ノ西端ヲ物体ニ懸クルニ

平廣ナル邊ヨリ狹厚ナル邊ヲ

下向シテ錘ヲ垂ルレハ其屈折

ノ力ナキ試験ヲ爲ス可シ其明

解ヲ要ス

(四) 土木及工作者ノ必心得ベキ要

點アリ何ツヤ

(五) 試験ニ因リテ摩擦力ノ多少ヲ

明解セヨ

(六) 假ニ摩擦力ナキキハ宇内ノ有

様如何ツヤ

流躰ノ性

(一) 動体ハ形狀ヲ固持セントスル

ノ力ヲ有スルヤ

(二) 流動体ハ容積ヲ固持セントス

ルノ力ヲ有スルヤ

(三) 流動体ノ壓力ヲ交通スルノ試

験如何

(四) 流動体ハ壓力ヲ各方ニ交通ス

ルノ試験ヲ爲ス可シ

(五) 流動体ノ壓力ヲ發明セシハ何

人ナルヤ

(六) 流動体ノ上方ニ向ツテ衝クベ

キ壓力ハ活塞ノ面積ニ比例ス  
ルノ試験如何

(七) 水ノ二寸四方面ノ活塞ヲ衝ク

所ノ壓力十斤ナルキハ之ト同

所ニ在ル三寸四方面ノ活塞ヲ

衝クベキ壓力ハ若干ナルヤ

(八) 水搾機ノ効用如何

(九) 流動体ハ如何ナル性ヲ有スル

ヤ

(一〇) 重力ノ方向ハ水銀或ハ其他ノ

流動体面上ニ直立シテ之ト正

角ヲ爲スノ試験如何

(一) 水面ノ平準ナルコトヲ一目シテ  
知ルノ試験如何

(二) 水秤器ノ効用如何

(三) 流動体ノ壓力ハ如何ナル作用

ヲ爲スヤ

(四) 流動体ノ側壓力ヲ試験スルノ

方法如何

(五) 流動体ノ上壓力ヲ試験スルノ

方法如何

(六) 水面ヨリ下ルコト十尺ノ處ニ

於ケル壓力六斤ナル時ハ二十

五尺ノ處ニ於ケル壓力ハ幾許



- ナリヤ
- (七一) 水ノ壓力ハ湖水ノ大小ニ由テ  
強弱ノ差アリヤ
- (七八) 石ノ水中ニ在ル時ト氣中ニ在  
ル時トノ輕重如何
- (八九) 礫子ヲ水中ニ投入シテ水壓ヲ  
知ルノ試験如何
- (九〇) 物体ヲ水中ニテ測算スレハ重  
量ヲ減少セルカ如シト雖モ其  
全ク失ハサル證據ヲ舉ゲヨ
- (九一) 物体ヲ水中ニテ測算シ其減少  
セル重量ハ物体ノ容積ニ均シ  
キ水ノ重量ト相異ナルナキノ  
試験如何
- (九二) 一器ニ水ヲ溢ル、迄注加シ一  
物体ヲ入レ此溢レタル水ノ分  
量ハ幾何ナリヤ
- (九三) 鉄片ノ水中ニ沈没スル理如何
- (九四) 木片ノ水ニ浮泛スルノ理如何
- (九五) 物体ヲ水中ニ投スルニ浮沈セ  
ズシテ水中ノ某處ニ止リテ重  
量ナキハ如何ナル理ナルヤ
- (九六) 鉛ト水ノ比重ヲ知ルノ法則如  
何

- (七二) 例ハ鉛ノ重量氣中ニテハ五  
十七匁ナリ水中ニテハ五十四  
匁ナルキハ其比重若干ナリヤ
- (八二) 物体ノ比重ヲ知ルノ法ハ如何  
ナル機會ニ於テ何人ノ發明ニ  
係ルヤ
- (九二) 一片ノ鈍金アリ空氣中ニテハ  
七十六匁ナリ水中ニテハ七十  
匁ナルキハ是則鈍金ナルヤ鈍  
金ナラザルヤ
- (〇三) 流動体ニテ浮泛力ノ多少ハ其  
質ノ如何ニ因ルヤ
- (一三) 鏡片ノ浮泛ス可キ流動体ハ如  
何ナルモノゾ
- (二三) 人ノ游泳スルニ浮泛シ易キハ  
井水ナルヤ將タ海水ナルヤ
- (三三) 細管カトハ何チ云フヤ
- (四三) 水ハ自己ノ面積ヨリモ上昇ス  
ルハ何故ナルヤ
- (五三) 水ノ上昇スルハ物体ト水トノ  
間ニ互ニ引力アルニ由ルト其  
試験如何
- (六三) 水銀ト相互ノ引力アル物ハ何  
ゾヤ

物理



氣體ノ性

- (一) 氣體ト流動體トノ區別如何
- (二) 氣體ノ定義如何
- (三) 流体ノ定義如何
- (四) 排氣器ハ如何ナル用ヲ爲スヤ
- (五) 印度護謨製ノ氣球ヲ鐘内ニ入ル内氣ヲ排出スレハ氣球ノ愈膨脹スルヲ視ルソハ何故ナルヤ
- (六) 排氣器ノ構造如何
- (七) 排氣器ノ盤上ニ一種ノ底ナキ圓場ヲ載セ護謨ノ切片ヲ以テ其口ヲ蓋閉シ前ノ如ク圓場内ノ空氣ヲ排出スレハ其護謨破裂スソハ何故ナリヤ
- (八) 空氣ニ重量アルヲ試驗スルノ方法如何
- (九) 諸種ノ氣體各特異ノ重量ヲ有スルヤ
- (一〇) 炭酸氣ト空氣ト比スレハ孰レカ重キヤ
- (一一) 水素ト空氣ト比スレハ孰レカ重キヤ
- (一二) 氣壓ヲ感セサルノ理如何

- (一三) 地球ハ矢張空氣ヲモ吸引スルヤ否ヤ
- (一四) 空氣ハ尙水ノ海底ヲ壓スルカ如ク地球ヲ壓スルヤ否ヤ
- (一五) 机上ニ於ケル紙片ハ其表面ヲ衝ク處ノ壓力ノ爲メニ机ニ壓着セサルノ理如何
- (一六) マクデボルクト名クル二個ノ半球アリ是ハ如何ナル事ヲ試驗スルモノナリヤ
- (一七) 輕氣球ノ飄揚スルハ如何ナル理ニ基クヤ
- (一八) 空氣ニ浮泛力アルノ試驗ハ何ヲ以テスレハ明ナルヤ
- (一九) 風雨針ハ如何ナル成績ヲ顯スモノナルヤ
- (二〇) 水銀ヲ充テタル管ヲ水銀ヲ入レタル孟内ニ倒立スルニ必ス管ノ上部ニ於テ水銀ノ充タザル部分ヲ生スソハ何故ナリヤ
- (二一) 空氣ノ壓力孟内ノ水銀面ヲ衝キ終ニ管ノ上部ヲ填ムルノ勢力アリヤ否ヤ
- (二二) 水銀柱其高サニ定度アリト明

物理



- 解ス可シ
- (一) 風雨針ノ創制ハ何人ニ係ルヤ
  - (二) トリセリ氏ノ真空トハ何故ニ  
斯ク稱シタルヤ
  - (三) 風雨針ノ効用ハ如何
  - (四) 風雨針ヲ高山ノ絶頂ニ持行ク  
キハ水銀ノ昇降如何ナルヤ
  - (五) 風雨針ヲ以テ其晴雨ヲ豫察ス  
ルノ方法ハ如何
  - (六) 排氣器ノ用法ヲ陳述セヨ
  - (七) 吸水器ハ其水柱ノ柱ノ高サ水  
銀ト異ナルヤ
  - (八) 水ヲ以テ風雨針ヲ製スルキハ  
其水柱ノ長サ幾許ナルヤ
  - (九) 吸水器ノ溜槽ト下扉トノ距離  
三十尺ヲ超過スルキハ作用ヲ  
爲サズト其理如何
  - (一〇) 吸水器ヲ使用スルニ當リ少許ノ  
水ヲ活塞ニ注クハ何故ナルヤ
  - (一一) 撒夜器ノ用法ヲ解明ス可シ
- 動物論
- (一) 勢力トハ如何ナル者ナルヤ
  - (二) 勢力ノ充タル物体トハ如何ナ  
ルモノナリヤ

- (三) 既ニ勢力ノ歎盡シタル物体ト  
ハ如何ナルモノナリヤ
- (四) 勢力ヲ有ス物体ハ凡幾種ニ區  
分スルヤ
- (五) 勢力ノ充タル物体ハ著シキハ  
何等ノモノナリヤ
- (六) 人ノ勢力トハ何ヲ云フヤ
- (七) 勢力ヲ測算スルノ法式如何測  
算スルニハ動作ノ量ヲ幾位ト  
定ムルヤ
- (八) 重力ニ抗シ三斤ノ重物ヲ三尺  
ノ處ニ扛擧ス可キ動作ノ量ハ  
若干アリヤ
- (九) 動作ノ量ヲ檢出スルノ法式如  
何
- (一〇) 大砲ヲ空ニ向ケ重量百斤ノ彈  
丸ヲ放チ其落下セントスルノ  
前一千尺ノ高サニ達ストスレ  
ハ彈丸ノ勢力若干ナリヤ
- (一一) 今二倍ノ速力ヲ以テ空ニ放チ  
タル彈丸ハ幾倍ノ高サニ達ス  
ルヤ
- (一二) 今三倍ノ速力ヲ以テ空ニ放チ  
タル彈丸ハ幾倍ノ高サニ達ス  
ルヤ



- (一) 動作ノ量ヲ測算スルニ空ニ放チタル彈丸ノ飛行セル距離ヲ以テセンヨリ何カ簡便ナル法ハナキヤ否ヤ
- (二) 一秒時ニ三十二尺ノ速力ヲ以テ四斤ノ彈丸ヲ放ツニ其上昇ス可キ高サ若干ナリヤ
- (三) 一秒時ニ一千尺ノ速力ヲ以テ放チタル彈丸ハ六枚ノ板ヲ貫穿ス二千尺ノ速力ナルキハ幾枚ノ板ヲ貫穿シ得ルヤ
- (四) 勢力ノ伏靜セル狀況ヲ有スル者ヲ舉ゲヨ
- (五) 石塊ヲ携帯セル位置ニ由リテ勢力ノ多少アルハ何ツヤ
- (六) 水槽ノ勢力ヲシテ許多ナラシムルニハ如何スベキヤ
- (七) 水車ヲ利用スルノ方法如何
- (八) 風車ヲ利用スルノ方法如何
- (九) 水車ノ風車ニ勝レル利祐如何ツヤ
- (一〇) 震動体トハ何チ云フヤ

震動体

- (一) 音響ハ如何ナル理ニ因リテ發スルヤ
- (二) 震動体ハ周圍ノ空氣ニ動勢ヲ與フルヤ
- (三) 物ノ震動空氣ニ傳達シ耳官ニ達セハ如何ナル聽感ヲ起スヤ
- (四) 動ト呼バスシテ響ト云フハ如何ナル義ナルヤ
- (五) 傳發ノ方法如何
- (六) 音ニ調音不調音トノニアリ其調音トハ如何
- (七) 清音トハ何チ云フヤ
- (八) 濁音トハ何チ云フヤ
- (九) 調音ノ感動如何
- (一〇) 不調音ノ人耳ヲ害スル場合如何
- (一一) 音響ノ人耳ニ達スルニ空氣ヲ要スル証據ヲ記セ
- (一二) 砲聲ノ傳達空氣中ニテハ一秒時ニ大約何程ナルヤ
- (一三) 砲聲ノ傳達水中ニテハ大約何程ナルヤ
- (一四) 砲聲ノ傳達若シ木材ナルトキハ何程ナルヤ

物理



- (六一) 砲聲ノ人耳ニ達スルニ時間ヲ要スルハ何故ナリヤ
- (六二) 龍動府シントフォールヲ寺堂ニ於ケル響キノ一奇話ヲ記セ
- (七一) 人遠方ニ在リテ火烟ヲ見後十秒時ヲ經過シテ砲聲ヲ聞クトキハ其距離何程ナルヤ
- (七二) 震動体ノ一秒時ニ傳フル處ノ震數ノ多少ニ依リ清濁ヲ異ニスト其故如何
- (八一) 反響ノ理由如何
- (八二) 物体ノ一秒時間ニ發スル震數ヲ檢出スルニ要用ナル器械ヲ明解ス可シ
- (九一) 反響ノ方向如何
- (九二) 一秒時間ニ發スル震數ノ某音ニ符合スルモノヲ查出スルノ方法如何
- (〇一) 光ノ進行同線ニ由リ反射シ來ラサル場合如何
- (〇二) 熱體論
- (一一) 響モ亦光ノ如ク燒點ヲ有スルヲ証如何
- (一二) 反響ハ如何ナル時ニ要スルヤ
- (一三) 反響ハ如何ナル時ニ要スルヤ

- (一) 温体ト冷体トノ輕重如何
- (二) 温体ト冷体トハ孰レカ多少ノ勢力ヲ有スルヤ
- (三) 熱体分子ノ運動ヲ視ザル理由如何
- (四) 熱體ノ位置ニ復スルノ試驗法ヲ記セ
- (五) 熱体分子ノ運動ヲ視ザル理由如何
- (六) 空虛ノ玻璃球ニ水ヲ充シ之ヲ熱スレハ如何ナル状態ニ變スルヤ
- (七) 震動体ヲ講スルニ事理ノ詳細ヲ得ベキモノハ何ゾヤ
- (八) 膀胱ヲ取り其積殆ント三分ノ二ヲ空氣ニテ充タシメ之ヲ烘熱スレハ如何ナル状態ニ變スルヤ
- (九) 熱ハ物体ヲ如何スルノ性ヲ有スルヤ
- (一〇) 世間普通ノ水銀寒暑針及其用法ヲ問フ
- (一一) 金屬ヲ熱シテ延長シタル後之
- (一二) 寒暑針ノ製法如何
- (一三) 金屬ヲ熱シテ延長シタル後之

物理



- (一) 寒暑針ニ度目ヲ劃スルノ法式如何
- (二) 白金ト亞鉛トハ孰レカ膨脹シ易キヤ
- (三) センチグレードナル語ハ如何ナル義ナリヤ
- (四) 流体ト固体トハ孰レカ膨脹シ易キヤ
- (五) センチグレード寒暑針ノ夏天ノ温度ハ幾許ナリヤ
- (六) 固体ノ膨脹ヲ試験スルノ法ヲ以テ流体ヲ試験スル能ハザルハ何故ナリヤ
- (七) 玻璃ト鉛トハ孰レカ膨脹シ易キヤ
- (八) 流体ト固体ヨリ膨脹シ易キ理由如何
- (九) 流体ハ熱度ノ高低ニ由リテ膨脹ノ遲速如何
- (一〇) 氣體ト流体トハ膨脹ノ力孰レカ強大ナルヤ
- (一一) 氣體ヲ膨脹セシムルモノハ如何ナル所爲ニ因ルヤ
- (一二) 流体膨脹シテ強大ナル力ヲ發スルノ一例ヲ舉ゲヨ
- (一三) 人爲ヲ以テ充分物体ヲ冷シ之ヲシテ固体若クハ流体ニ變ゼシメントスレハ爲シ能フヤ否ヤ
- (一四) 比較熱トハ如何
- (一五) 氣體ノ決シテ流体ニ化セザルハ何故ナルヤ
- (一六) 最大ノ比較熱ヲ有スルモノハ何
- (一七) 爰ニ二物アリ寒暑針ヲ以テ二個ヲ驗スルニ共ニ同温度ナリ然ルニ彼ヨリ冷ナルヲ覺ユ其理如何
- (一八) 亞鉛ノ一片ハ已ニ融解セルアリ他ノ一片ハ蒸氣トナリテ揮

物理



- (三) 難化物トハ何故ニ斯ク稱スルヤ
- (四三) センチグレード「寒暑針ニ據レハ水ノ沸騰點及ヒ氷ノ融點ハ幾度ナルヤ
- (五三) 白金ハ之ヲ融解スルニ幾許ノ熱ヲ要スルヤ
- (六三) 潜熱トハ何ヲ云フヤ
- (七三) 潜熱ヲ試験スル法ハ如何
- (八三) 零度ノ氷一斤ト百度ノ沸湯一斤トヲ混和スレハ其温度ハ即五十度ヨリ高キヤ將タ低キヤ
- (九三) 潜熱ハ寒暑針ニ感スルヤ否ヤ
- (〇四) 蒸氣ノ寒熱ヲ試験スルノ法如何
- (一四) 零度ノ氷水一斤百度ノ蒸氣一斤ト混和スレハ其熱度ハ即五十度ヨリ高キヤ將タ低キヤ
- (二四) 水ノ潜熱ハ七十九ト云ヘリ其ハ何故ナリヤ
- (三四) 蒸氣ノ潜然五百三十七ト云ヘリ其ハ何故ナリヤ
- (四四) 零度ノ水ヲ氷ニ融解セシムルニ甚タ少些ノ熱ヲ以テ足レリ

- トスルキハ如何ナル變事アリヤ
- (五四) 蒸氣ノ潜熱甚些少ニ止ルキハ如何ナル變事アリヤ
- (六四) 眞ノ蒸氣ハ視ルヲ能ハザルモノナリヤ否ヤ
- (七四) 鏡瓶内ノ水劇シク滾沸スルトキハ稍口嘴ヲ隔テ、雲霧ノ如キモノヲ視ルコトハ蒸氣ナルヤ否ヤ
- (八四) 沸發トハ如何ナルモノヲ云フヤ
- (九四) 水ノ沸點ハ氷ノ融點ト全ク一定ナラズト其關係如何
- (〇五) 沸點ハ高山ノ頂キニ於ケルヨリ平地ノ方高キヤ將タ低キヤ
- (一五) 壓力ヲ減却スレハ大ニ水ノ沸點ニ感動ヲ及ボスト其試験如何
- (二五) 固体ノ融解シテ流躰ニ變スルニ方リ膨脹スルモノアリ或ハ収縮スルモノアリ其例ヲ擧ゲヨ
- (三五) 固体ヲ流体ニ化センニハ膨脹スルヤ將タ収縮スルヤ

物理



- (四五) 流体ノ氣體ニ變スルニ膨脹スルヤ將タ収縮スルヤ
- (五五) 一寸立方ノ沸湯ヨリ發散スル蒸氣ノ容積幾許ナリヤ
- (六五) 熱ノ功蹟如何
- (七五) 化學上熱ノ効用如何
- (八五) 化學親和力ニ依リテ熱ヲ生スルノ理如何
- (九五) 二物ヲ混合スレハ熱ヲ失フノ例ヲ舉ゲヨ
- (〇六) 凍結混和物トハ何ヲ云フヤ
- (一六) 蒸發迅速ナル流体ニ觸ルレハ
- (二六) 非常ノ寒冷ヲ覺ユ其理如何
- (三六) 非常ノ寒冷ヲ得ント欲セバ如何スレバ得ベキヤ
- (四六) 熱ノ擴張性トハ何ヲ云フヤ
- (五六) 熱ノ擴張スル方法如何
- (六六) 金屬ノ玻璃ヨリ熱ヲ導キ易キハ何故ナルヤ
- (七六) 毛羽ハ導體ナルヤ將タ不良導體ナルヤ
- (八六) 毛羽ヲ以テ造リタル被物ハ如何ナル効用アルヤ
- (九六) 不良導物ハ唯熱ヲ貯藏シテ失

ハサランコヲ要スル處アリヤ

否ヤ

(九六) 銅ト鎂トハ孰レカ良導體ナルヤ

ヤ

(〇七) 一器ニ水ヲ盛り器底ヨリ熱スルキハ其滾動法如何

(一七) 熱ノ交代アリテ湖水ヲ全ク氷結セシメザルノ理由如何

(二七) 貿易風ノ理由如何

(三七) 太陽熱ノ地球ニ達スル法如何

(四七) 沸湯ヲ盛りタル藥罐ヨリモ矢

張線熱ヲ射出スルヤ

(五七) 物体ヲ熱スルコト益々熾ナラシメハ其射發スル光線ノ現象

如何

(六七) 光ノ速力ハ何國何人ノ發明ニ

係ルヤ

(七七) 光ノ速力ヲ發明セシ其方法如何

何

(八七) 光ノ速力ハ若干ナリヤ

(九七) 光ノ速力ト響ノ速力トノ比例

如何

(〇八) 今俄然太陽消滅セシモノトス

レハ此期ヨリ幾何時ヲ經テ其



成蹟ヲ見ル可キヤ

(一八) 光ハ何レヨリ出テ如何ナル理

由ニ依リテ其成蹟ヲ顯ハヌヤ

(二八) 光ノ進來スルヤ其理ヲ何ノ進

來ニ同フスルヤ

(三八) 試験ヲ以テ光ノ反射ヲ説明セ

ヨ

(四八) 光線反射ノ法則如何

(五八) 文字ヲ平鏡ニ照ラシ其寫映ス

ル處ノ影ヲ撰書ス可シ

(六八) 吾人常ニ寒暑針ノ球ニ映出セ

ル外物ノ影ハ如何

(七八) 二個ノ反射鏡ヲ用ウル試験法

如何

(八八) 試験ヲ以テ光ノ屈折ヲ明解セ

ヨ

(九八) 光線疎境ヨリ密境ニ入ルトキ

ハ其屈折如何

(〇九) 光線密境ヨリ疎境ニ入ルトキ

ハ其屈折如何

(一九) 光線ノ平坦ナル玻璃ヲ通過ス

ル前後並ニ其ノ通過スル方向

ヲ説明スベシ

(二九) 光線三稜鏡ヲ通過スル前後并

ニ其ノ通過スル方向ヲ解明ス

ベシ

(三九) 光線ハ三稜鏡ヲ通過スルニ其

ノ厚キ部分ニ近ヅキテ屈折ス

ルヤ或ハ厚キ部分ヲ遠ザカリ

テ屈折スルヤ

(四九) 透光鏡ヲ豎ニ視レハ如何ナル

形状ナリヤ其ノ圖ヲ畫クベシ

(五九) 一束ノ光線鏡上ニ平行シ來リ

テ屈折スル方法ヲ問フ

(六九) 透光鏡ヲ火鏡ニ代用スル方法

如何

(七九) 寫眞師ノ透光鏡ヲ使用スル方

法如何

(八九) 單純ノ透光鏡ヲ用井テ細微ノ

モノヲ増大ナラシムル方法如

何

(九九) 單純ナル透光鏡ヲ用井テ遠隔

セルモノヲ視得ヘキヤ

(〇〇) 遠方ノ物体ヲ觀ントスルニハ

如何ナル装置ヲ要スルヤ

(一〇) 青紅綠色線ノ共ニ三稜鏡上ニ

落下スルキハ何レモ同時ニ鏡

ヨリ出發スルヤ



- (二〇-) 青紅綠色線ノ共ニ三稜鏡ニ於ケル屈折ノ順序ヲ問フ
- (三〇-) 白光ハ如何ナル彩色ノ混合ニ由テ成ルヤ
- (四〇-) 三稜鏡ヲ用非テ白光ノ七色ヨリ成ル試験ヲ爲スベシ
- (五〇-) 白光ノ七色ヨリ成ルヲ發見セシハ何人ナリヤ
- (六〇-) 光象トハ何ヲ云フヤ
- (七〇-) 冶工ノ鉛片ヲ取り重大ナル槌ヲ以テ之ヲ打シニ其ノ有スル勢力ハ如何ニ變化スルヤ
- (八〇-) 一種ノ附木ヲ槌ニテ打テハ其ノ勢力ハ熱ニ變化スルノ試験ヲ爲スベシ
- (九〇-) 瀉車ノ速力ヲ減ズル止機火光ノ發スル理如何
- (一〇一-) 熱ヲ再ヒ明動勢力ニ變ズルノ例ヲ舉ゲヨ
- (一) 古人ノ昉メテ電氣アルヲ發明セシ證據ヲ問フ
- (二) 電氣ハ玻璃ニ擴張シ難キ試験ヲ爲スベシ
- (九) 絹布ヲ以テ玻璃ヲ擦リテ兩個ノ体中ニ發スル電氣ノ種類如何
- (一〇-) フラネル布ヲ以テ封蠟ヲ擦リテ兩個ノ体中ニ發スル電氣如何
- (一) 電氣ノ導引ヲ試験スベシ
- (二) 電花ヲ發スルノ理ヲ明解スベシ
- (三) 金箔製驗電器ノ作用ヲ明解スベシ
- (四) 驗電器ニ陽電氣ヲ通シ今發電

- (三) 電氣ハ金屬ニ擴張シ易キ試験ヲ爲スベシ
- (四) 導體及ビ不導體ノ例ヲ舉グベシ
- (五) 電氣ニ二種アルヲ試験ニ由リテ明解スベシ
- (六) 同種ノ電氣ヲ有スル二物ノ作用如何
- (七) 異種ノ電氣ヲ有スルモノノ作用如何
- (八) 二種ノ電氣ヲ分割スルノ試験如何
- (一) 電氣ノ導引ヲ試験スベシ
- (二) 電花ヲ發スルノ理ヲ明解スベシ
- (三) 金箔製驗電器ノ作用ヲ明解スベシ
- (四) 驗電器ニ陽電氣ヲ通シ今發電



- 玻璃ヲ以テ器球ニ接スレバ如何ナル感動ヲ與フルヤ
- (一) 電光ト電氣トハ同一ナルヤ否ヤ若否ヲザレバ如何
- (二) 電氣機ヲ旋轉スルノ難キ理由ハ何ゾヤ
- (三) ブチルタ電池ノ其ノ作用ヲ論ゼヨ
- (四) 電也ノ極線トハ何ヲ云フヤ
- (五) 陽電氣ノ電路ヲ流通スル方法如何
- (六) グローブ電池ノ用法如何
- (七) 電氣ノ流通ヲ以テ白金線ヲ熱スルノ方法如何
- 封蠟ヲ以テスルキハ如何ナル
- (一) 驗電器ニ陽電氣ヲ通シ今發電
- (二) 電氣機ヲ旋轉スルノ難キ理由ハ何ゾヤ
- (三) ブチルタ電池ノ其ノ作用ヲ論ゼヨ
- (四) 電也ノ極線トハ何ヲ云フヤ
- (五) 陽電氣ノ電路ヲ流通スル方法如何
- (六) グローブ電池ノ用法如何
- (七) 電氣ノ流通ヲ以テ白金線ヲ熱スルノ方法如何
- 感動ヲ與フルヤ
- (一) 電氣ノ事ニ付キ「フランクリン」氏ノ發明如何
- (二) 電氣機ノ用法如何
- (三) 雷電ノ作用法如何
- (四) 放電文ノ用法如何
- (五) 電氣ノ勢力ヲ有スル例證ヲ舉ゲヨ

- (八) 電氣流通ノ力ヲ以テ水ヲ分析スル方法如何
- (九) 電氣力ヲ以テ水ヲ分析スルキ酸素及ヒ水素ハ何處ニ發スルヤ
- (一〇) 電氣ノ流通ニ由リテ鉄ノ一片ト他ノ一片ト相吸引付着スルノ方法如何
- (一一) 磁石ハ如何ナルモノナリヤ
- (一二) 磁針ヲ電氣ノ流通線ニ接シ自安スルノ位置ハ如何
- (一三) 電氣ノ流通ヲ遮斷スルキハ如何
- 何
- (一) 電池ヨリ引キタル線ノ長サノ長短ニ依リテ成蹟ノ異ナルヲアリヤ否ヤ
- (二) 若シ一千里ノ遠方ニ在リテ直ニ極線ヲ截斷スレハ如何
- (三) 電信機ヲ實用スルニ英國ニアリテ米國ノ變事ヲ尋問セントスルニハ凡幾時間ヲ要スルヤ
- (四) 細線ニ電氣ヲ通シテ之ヲ熱ス
- (一) 電氣流通ノ力ヲ以テ水ヲ分析スル方法如何
- (二) 電氣機ノ用法如何
- (三) 雷電ノ作用法如何
- (四) 放電文ノ用法如何
- (五) 電氣ノ勢力ヲ有スル例證ヲ舉ゲヨ
- (六) 電氣ノ事ニ付キ「フランクリン」氏ノ發明如何
- (七) 電氣機ノ用法如何
- (八) 雷電ノ作用法如何
- (九) 放電文ノ用法如何
- (一〇) 電氣ノ勢力ヲ有スル例證ヲ舉ゲヨ
- (一一) 磁石ハ如何ナルモノナリヤ
- (一二) 磁針ヲ電氣ノ流通線ニ接シ自安スルノ位置ハ如何
- (一三) 電氣ノ流通ヲ遮斷スルキハ如何



- ルノ法如何
- (五) 抱合液体ヲ分析スル法如何
- (六) 軟鉄ヲ一時猛烈ノ磁石トナスノ法如何
- (七) 鋼鉄ヲ經久磁石トナスノ法如何
- (八) 羅鍼盤ヲ偏動シテ遠隔ノ地ニ通信スルノ法如何
- (九) 物体ノ勢力ハ決シテ消滅セザルノ理如何
- (十) 常量「ボント」ハ何氏ニ當ルヤ
- (一) 手ヨリ石ヲ落サハ一秒時ニ幾

- 許ノ距離ヲ墜下スルヤ
- (一) 金屬中最堅硬ナル者ハ何ゾヤ
- (二) 金屬中最可鍛シ易キハ何ゾヤ
- (三) 固体中極メテ硬固ナルモノハ何ゾヤ
- (四) 水一寸立方積ノ重量ハ何氏ニ當ルヤ
- (五) 空氣ノ百寸立方積ノ重量ハ如何
- (六) 炭酸瓦斯ノ百寸立方積ノ重量如何
- (七) 水素瓦斯ノ百寸立方積ノ重量如何

如何

ベキ熱量ハ如何

- (九) 大氣ノ壓力水銀ト水トニ就キテ定ムル其ノ比較如何
- (十) 響ノ空氣ヲ運動スル速力ノ割合如何
- (一) 樂器ノ糸清音ヲ發スル震動ノ割合如何
- (二) 樂器ノ糸濁音ヲ發スル震動ノ割合如何
- (三) 一斤ノ氷ヲ融解スルニ要セラレベキ熱量ハ如何
- (四) 一斤ノ沸湯ヲ盡ク沸發セシム

- (五) 光ノ速力ハ一秒時間ニ幾許ノ割合ナルヤ
- (六) 雷電壇ヨリ發スル電火ハ幾時間ニ消滅スルヤ
- (七) 課業ニ著手スル前諸機械ノ使用法如何
- (八) 理學上豕脂ヲ要スルハ如何ナル用ヲ爲スヤ
- (九) 燐ヲ取扱フニ注意スベキ心得方如何
- (十) 水銀ノ不潔ナル片如何スレバ

物理



精良ノ者ヲ得ベキヤ

(一) 電氣機ヲ使用スルニ豫メ心得  
ベキコトハ如何

(二) グローブノ電池ヲ使用スルノ  
心得方如何

明治十七年十月三日版權免許

〔定價六拾錢〕

同 年十月廿二日出版

廣島縣士族

編輯人

佐久間剛藏

東京本郷區眞砂町  
二十五番地

東京府平民

同

林 韓

東京神田區三崎町  
一丁目十三番地

東京府平民

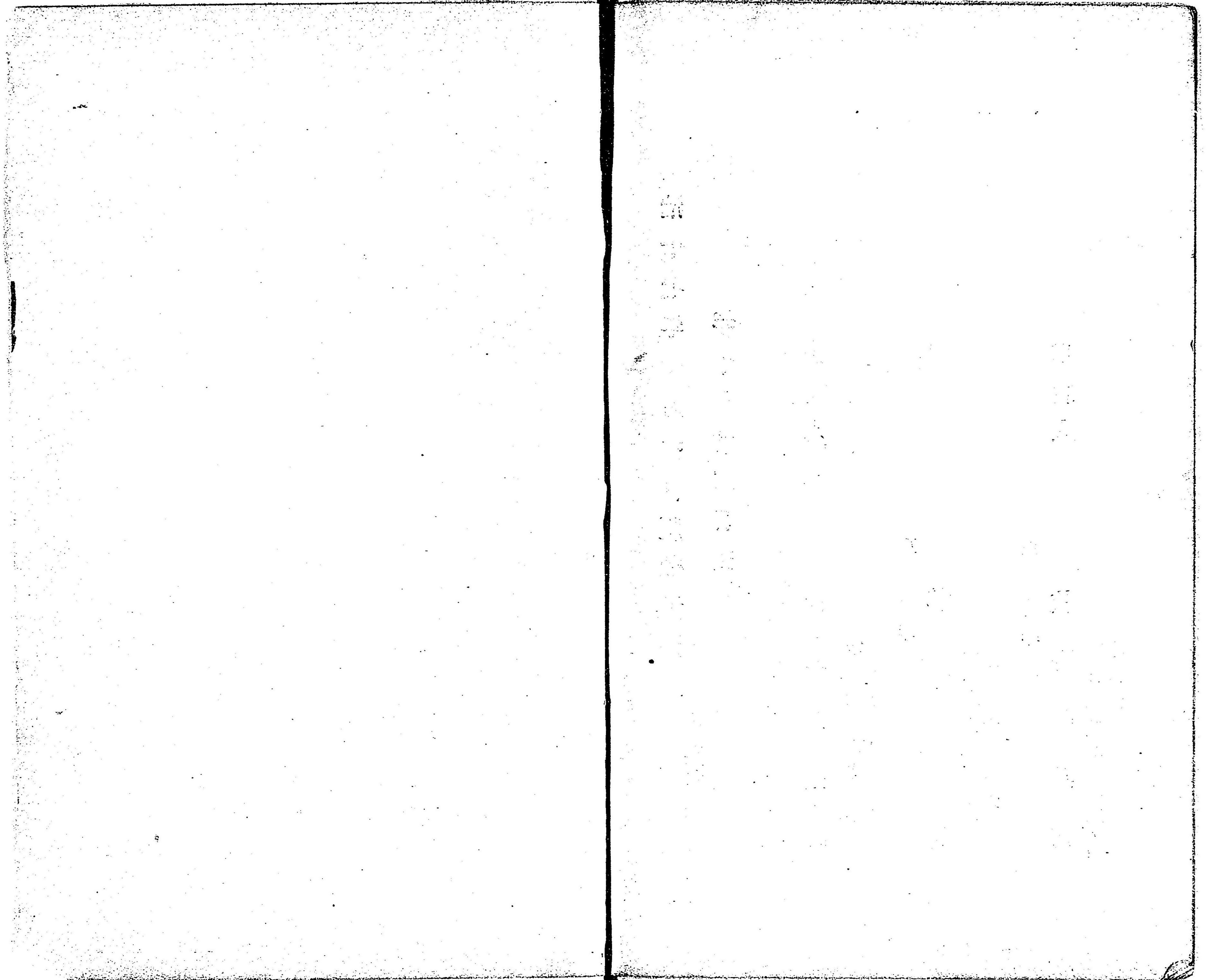
出版人

牧野善兵衛

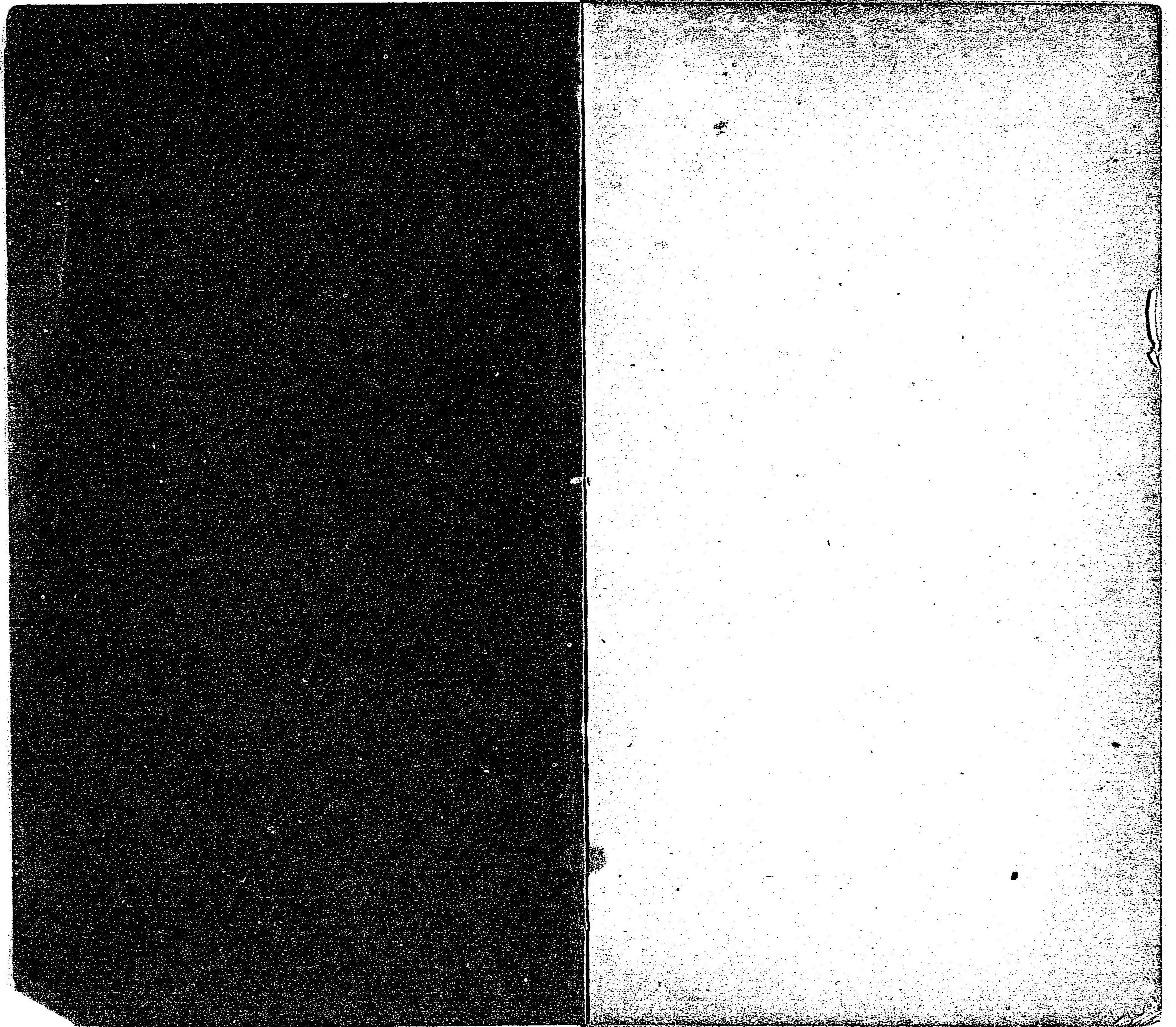
同日本橋區通四丁目  
七番地

















049526-000-2

特26-130

中等小学試験問題集

佐久間 剛蔵

林 韓／撰

M17

BEM-0194

